

EPSON
EXCEED YOUR VISION

取扱説明書

EB-W9

EB-X9

EB-S9



C77617000

マニュアル中の表示の意味





• 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

• 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  p.89
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：[戻る]ボタン
「(メニュー名)」 明るさ(太字の表記)	環境設定メニューの項目を示しています。 例： 画質調整メニュー - 「明るさ」を選びます。 画質調整メニュー - 明るさ

マニュアル中の表示の意味 2

はじめに

本機の特長 7

使いやすさをコンパクトに	7
小型で軽量	7
USBケーブルで接続して投写(USBディスプレイ)	7
投写や収納が簡単なスライド式レンズカバー	7
面倒な本体の水平調整が不要な単脚デザイン	7
前面排気で快適利用	7
ダイレクトにパワーオン/オフ	7
クールダウン不要ですばやい片付け	7
充実したセキュリティー機能	8
利用者を制限・管理するパスワードプロテクト	8
操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック	8

各部の名称と働き 9

前面/上面	9
背面	10
底面	11
操作パネル(EB-W9/X9)	11
操作パネル(EB-S9)	12
リモコン	13

便利な機能

USBケーブルで接続して投写する(USBディスプレイ) 16

動作環境	16
接続のしかた	16
初めて接続したとき	17
2回目以降	19
アンインストール	19

投写映像を切り替える 20

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)	20
リモコンで目的の映像に切り替える	21

投写を効果的にする機能 22

映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)	22
オートアイリス(自動絞り)を設定する	23
映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)	23
映像を停止させる(静止)	24
アスペクト比を切り替える	25
切り替え方法	25
ビデオ機器の映像のアスペクト比を切り替える	26
コンピューター映像のアスペクト比を切り替える(EB-X9/S9の場合)	27
コンピューター映像のアスペクト比を切り替える(EB-W9の場合)	28
説明箇所を指し示す(ポインター)	30
映像を部分的に拡大する(Eズーム)	31
リモコンでマウス操作をする	32
ワイヤレスマウス	33
ページ送り/戻し	34

セキュリティー機能 35

利用者を管理する(パスワードプロテクト)	35
パスワードプロテクトの種類	35
パスワードプロテクトの設定方法	35
パスワードの認証	36
操作を制限する(操作ボタンロック)	37
盗難防止用ロック	38
ワイヤーロックの取り付け方	38

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作 40

機能一覧 41

画質調整メニュー	41
映像メニュー	42
設定メニュー	43

拡張設定メニュー	45
情報メニュー(表示のみ)	47
初期化メニュー	48

困ったときに

ヘルプの見方	50
故障かなと思ったら	51
インジケータの見方	51
ⓘ インジケータが赤色点灯/点滅時	52
⚠ インジケータがオレンジ点灯/点滅時	53
インジケータを見てもわからないとき	54
投写に関するトラブル	55
USBディスプレイに関するトラブル	60
その他のトラブル	61

付 録

いろいろな設置方法	63
各部の掃除	64
本機の掃除	64
レンズの掃除	64
エアフィルターの掃除	64
消耗品の交換方法	65
リモコンの電池の交換方法	65
ランプの交換	66
ランプの交換時期	66
ランプの交換方法	66
ランプ点灯時間の初期化	68
エアフィルターの交換	69
エアフィルターの交換時期	69
エアフィルターの交換方法	69

オプション・消耗品一覧	71
オプション品	71
消耗品	71

ユーザーロゴの登録	72
-----------------	----

スクリーンサイズと投写距離	74
EB-W9の投写距離表	74
EB-X9の投写距離表	75
EB-S9の投写距離表	76

外部機器との接続	77
外部モニターとの接続	77
外部スピーカーとの接続	78

コンピューターを使ってプロジェクターの監視・制御をする (ESC/VP21コマンド)	79
始める前に	79
コマンドリスト	79
通信プロトコル	79

対応解像度一覧	80
EB-W9の対応解像度表	80
コンピューター映像(アナログRGB)	80
コンポーネントビデオ	81
コンポジットビデオ/S-ビデオ	81
EB-X9の対応解像度表	81
コンピューター映像(アナログRGB)	81
コンポーネントビデオ	82
コンポジットビデオ/S-ビデオ	83
EB-S9の対応解像度表	84
コンピューター映像(アナログRGB)	84
コンポーネントビデオ	85
コンポジットビデオ/S-ビデオ	85

仕様一覧	86
本機仕様	86

外形寸法図	88
用語解説	89
一般のご注意	91
表記について	91
商標について	92
索引	93



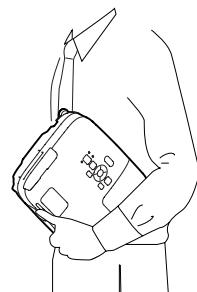
はじめに

ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

使いやすさをコンパクトに

小型で軽量

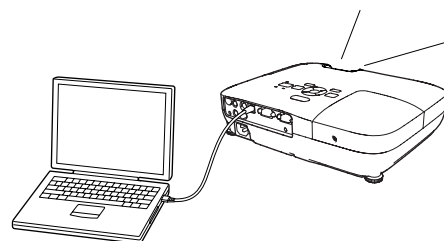
軽量のコンパクトボディで持ち運びが簡単です。



USBケーブルで接続して投写(USBディスプレイ)

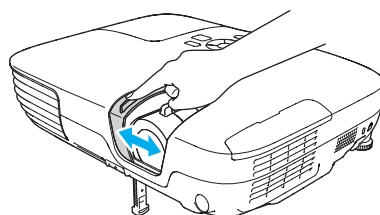
USBケーブルでコンピューターと本機を接続するだけで、コンピューター画面を投写できます。Windows、Mac OSの双方でご利用いただけます。

☛ p.16



投写や収納が簡単なスライド式レンズカバー

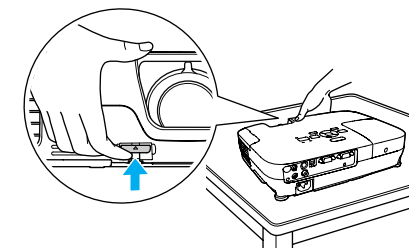
レンズカバーを開閉して投写の中断・再開が簡単にできるため、メリハリのあるプレゼンテーションが行えます。



面倒な本体の水平調整が不要な単脚デザイン

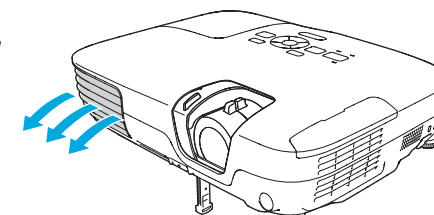
片手で簡単に高さ調整ができます。

☛ 『セットアップガイド』



前面排気で快適利用

排気を前面から行いますので、排気風が気にならず、快適にご利用いただけます。



ダイレクトにパワーオン/オフ

会議室など電源を集中管理している部屋でも管理元の主電源を入れる/切るして本機の電源をオン/オフすることができます。

クールダウン不要ですばやい片付け

使用后、本機の電源ボタンを押せばクールダウンを待つことなく電源ケーブルを抜き片付けられます。

充実したセキュリティー機能

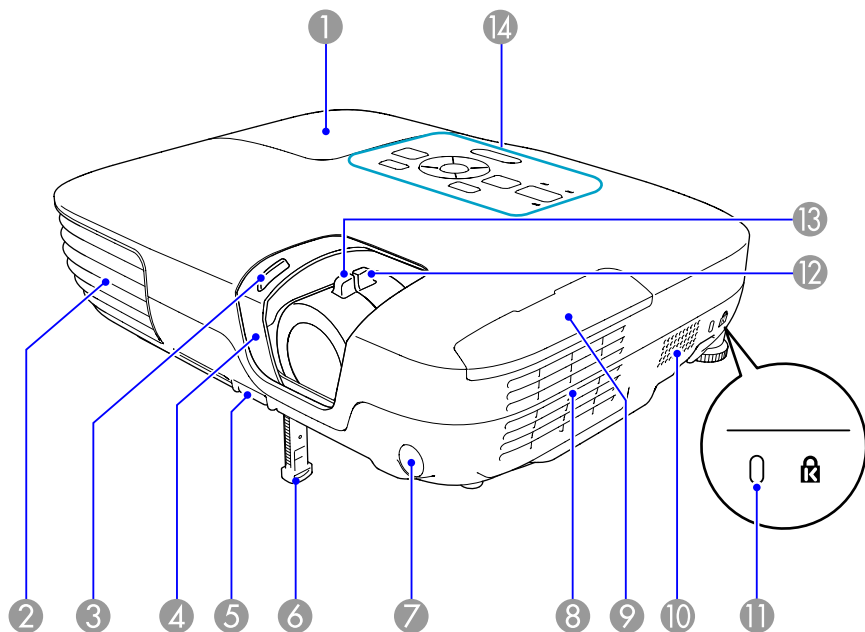
利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。👉 [p.35](#)

操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。👉 [p.37](#)

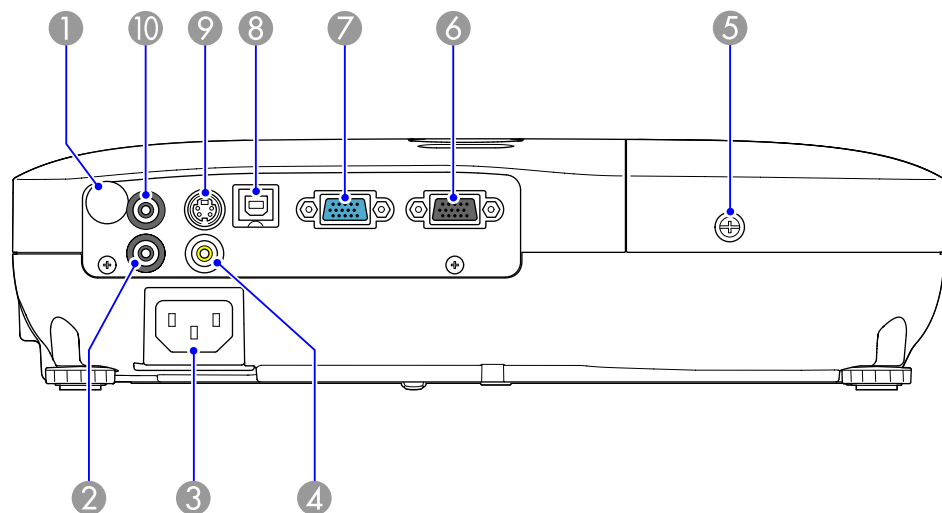
前面/上面



名称	働き
① ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。☞ p.66
② 排気口	本機内部を空冷した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。

名称	働き
③ スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。
④ スライド式レンズカバー	本機を使用しないときに閉じ、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます(AVミュート)。☞ p.23
⑤ フットレバー	フットレバーを引いて、フロントフットを伸縮させます。☞ 『セットアップガイド』
⑥ フロントフット	机上に設置したとき、本機を傾けて映像の位置を上調整するときには伸ばします。☞ 『セットアップガイド』
⑦ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☞ 『セットアップガイド』
⑧ エアフィルター(吸気口)	本機内部を空冷するための空気を取り込みます。ここにホコリがたまると内部の温度が上昇し、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。エアフィルターは定期的に清掃してください。☞ p.64, p.69
⑨ エアフィルターカバー	エアフィルターを交換するときには開閉します。☞ p.69
⑩ スピーカー	
⑪ セキュリティースロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティースロットです。☞ p.38
⑫ ズームリング(EB-W9/X9のみ)	映像のサイズを調整します。☞ 『セットアップガイド』
⑬ フォーカスリング	映像のピントを合わせます。☞ 『セットアップガイド』
⑭ 操作パネル	☞ 「操作パネル(EB-W9/X9)」 p.11 ☞ 「操作パネル(EB-S9)」 p.12

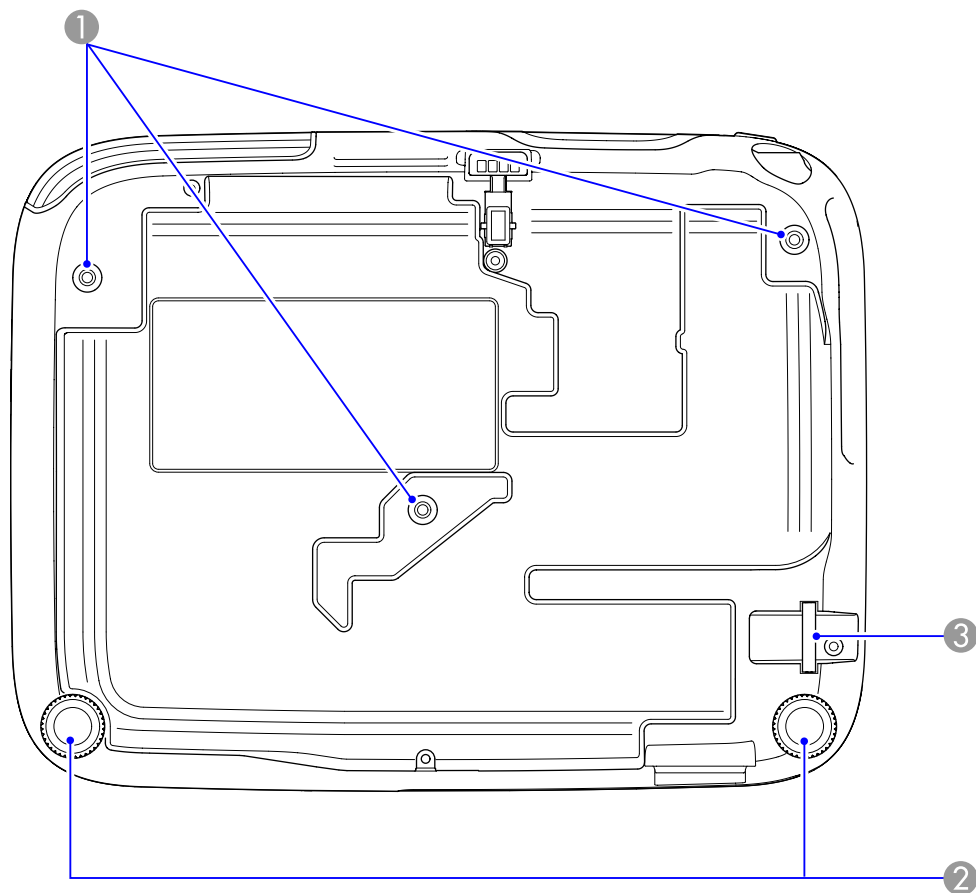
背面



名称	働き
① リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☛『セットアップガイド』
② 音声入力端子	他の機器の音声出力端子と接続して、音声を入力します。☛『セットアップガイド』
③ 電源端子	電源ケーブルを接続します。☛『セットアップガイド』
④ ビデオ入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
⑤ ランプカバー固定ネジ	ランプカバーを固定するネジです。☛ p.66
⑥ モニター出力端子	外部モニターと接続し、コンピューター入力端子から入力しているコンピューター映像信号を出力します。コンポーネントビデオ信号やコンピューター入力端子以外の端子から入力している信号には対応していません。☛ p.77
⑦ コンピューター入力端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。

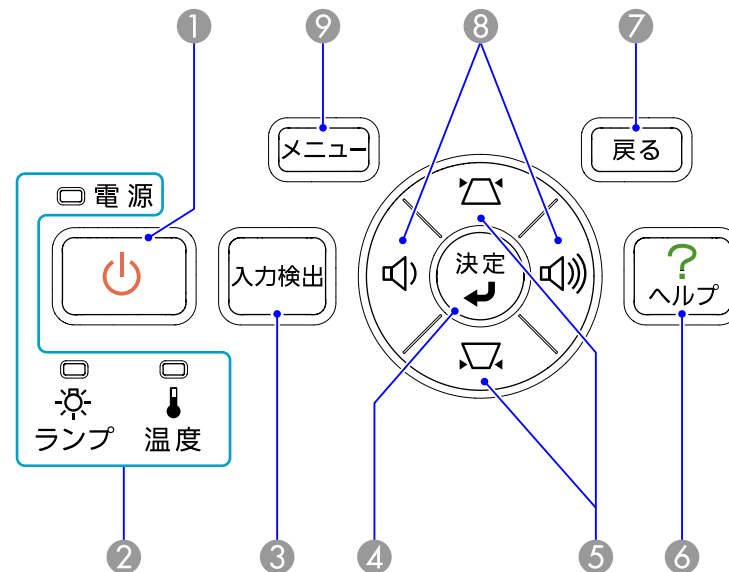
名称	働き
⑧ USB(TypeB)端子	同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続すると以下の機能が使えます。 <ul style="list-style-type: none"> • USBディスプレイ☛ p.16 • ワイヤレスマウス☛ p.32 • PowerPointファイルなどのページ送り/戻しの操作☛ p.34 • USB通信による本機の監視・制御☛ p.79
⑨ S-ビデオ入力端子	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。
⑩ 音声出力端子	現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。☛ p.78

底面



名称	働き
① 天吊り固定部 (3箇所)	天井から吊り下げて使うとき、天吊り金具を取り付けます。☛ p.63
② リアフット	机上設置時に、水平方向の傾きを調整するときに回して伸縮させます。☛ 『セットアップガイド』
③ セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。☛ p.38

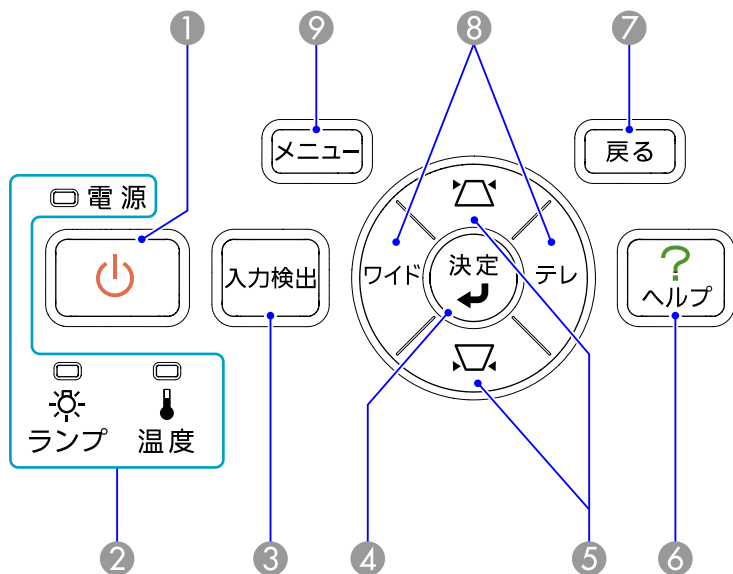
操作パネル(EB-W9/X9)



名称	働き
① [⏻]ボタン	電源をオン/オフします。☛ 『セットアップガイド』
② 状態インジケーター	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。☛ p.51
③ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☛ p.20
④ [決定]ボタン	コンピューター映像信号を投写中に押すと、最適に映るように トラッキング・同期・表示位置 が自動調整されます。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
⑤ [△][▽]ボタン	台形補正するときに押します。☛ 『セットアップガイド』 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。☛ p.40

名称	働き
⑥ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☞ p.50
⑦ [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☞ p.40
⑧ [◀][▶]ボタン	音量を調整するときには押します。☞ 『セットアップガイド』 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。☞ p.40
⑨ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。☞ p.40

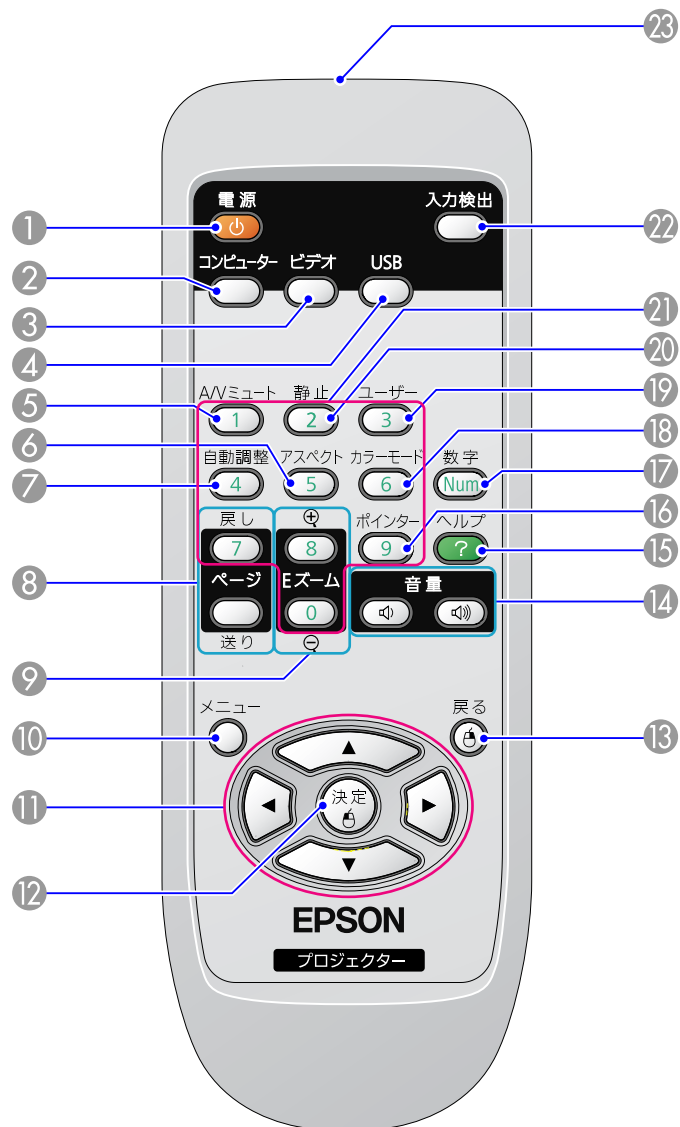
操作パネル(EB-S9)



名称	働き
① [⏻]ボタン	電源をオン/オフします。☞ 『セットアップガイド』

名称	働き
② 状態インジケーター	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。☞ p.51
③ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☞ p.20
④ [決定]ボタン	コンピューター映像信号を投写中に押すと、最適に映るように トラッキング・同期・表示位置 が自動調整されます。環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
⑤ [△][▽]ボタン	台形補正するときには押します。☞ 『セットアップガイド』 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。☞ p.40
⑥ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☞ p.50
⑦ [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☞ p.40
⑧ [テレ][ワイド]ボタン	投写画面のサイズを調整するときには押します。[テレ]ボタンを押すと投写画面のサイズが小さくなり、[ワイド]ボタンを押すと、大きくなります。☞ 『セットアップガイド』 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。☞ p.40
⑨ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。☞ p.40

リモコン



名称	働き
① [電源]ボタン	本機の電源をオン/オフします。☛『セットアップガイド』
② [コンピューター]ボタン	コンピューター入力端子からの映像に切り替えます。☛ p.21
③ [ビデオ]ボタン	押すたびに、ビデオ入力端子、S-ビデオ入力端子からの映像に切り替えます。☛ p.21
④ [USB]ボタン	USB ディスプレーの映像に切り替えます。☛ p.21
⑤ [AVミュート]ボタン	映像と音声を一時的に消去/解除します。☛ p.23
⑥ [アスペクト]ボタン	押すたびに、アスペクト比が切り替わります。☛ p.25
⑦ [自動調整]ボタン	コンピューター映像信号を投写中に押すと、最適に映るように トラッキング・同期・表示位置 が自動調整されます。
⑧ [ページ]ボタン (送り)(戻し)	本機とコンピューターをUSBケーブルで接続しているときにこのボタンを押すと、ページ送り/戻しの操作ができます。☛ p.34
⑨ [Eズーム]ボタン (⊕)(⊖)	(⊕)投写サイズを変えずに映像を拡大します。 (⊖)[⊕]ボタンで拡大した結果を縮小します。☛ p.31
⑩ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。☛ p.40
⑪ [▲][▼] [▶][◀]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。☛ p.40 ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを押すと、押した方向にマウスポインターが移動します。☛ p.33
⑫ [決定]ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。☛ p.40 ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左ボタンとして機能します。☛ p.33

名称	働き
⑬ [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☞ p.40 ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右ボタンとして機能します。☞ p.33
⑭ [音量]ボタン(◀)(▶)	(◀)音量を下げます。 (▶)音量を上げます。 ☞ 『セットアップガイド』
⑮ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☞ p.50
⑯ [ポインター]ボタン	投写中の映像をポインターで指し示すときに押します。☞ p.30
⑰ [数字]ボタン	パスワードを入力するときに使います。☞ p.35
⑱ [カラーモード]ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。☞ p.22
⑲ [ユーザー]ボタン	環境設定メニューの項目のうち良く使われる4項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。初期設定では 明るさ切替 が割り当てられています。☞ p.43
⑳ [静止]ボタン	映像を一時停止/解除します。☞ p.24
㉑ テンキーボタン	パスワードを入力するときに使います。☞ p.35
㉒ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☞ p.20
㉓ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。



便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

USBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。この機能をUSBディスプレイと呼びます。USB ケーブルで接続するだけですぐにコンピューターの映像を投写できます。

ハードディスク 空き容量	20MB以上
ディスプレイ	640x480以上、1680x1200以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色

動作環境

Windowsの場合

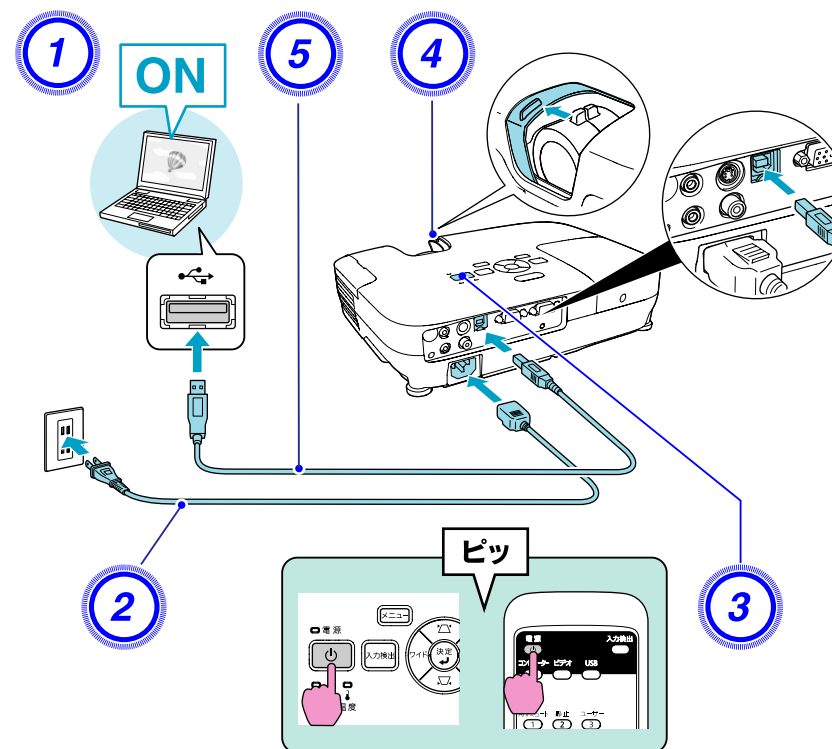
OS※	Windows 2000 Service Pack4 Windows XP Service Pack2以降 Windows Vista Windows Vista Service Pack1以降 Windows 7
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 推奨：Pentium M 1.6GHz以上
メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上
ハードディスク 空き容量	20MB以上
ディスプレイ	640x480 以上、1600x1200 以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色

※ 32bit版のみ対応しています。

Mac OSの場合

OS	Mac OS X 10.5.1以上 Mac OS X 10.6.x
CPU	Power PC G4 1GHz以上 推奨：Intel Core Duo 1.83GHz以上
メモリー容量	512MB以上

接続のしかた



操作

- ① コンピューターの電源を入れます。
- ② 電源ケーブル(同梱品)を接続します。
- ③ 本機の電源を入れます。
- ④ レンズカバーを開けます。
- ⑤ USBケーブルを接続します。
音声を本機のスピーカーから出力するときはオーディオケーブル(市販品)を音声入力端子に接続します。☛ 『セットアップガイド』
☛ 「初めて接続したとき」 p.17
☛ 「2 回目以降」 p.19

注意

USBハブを使用すると、正しく動作しません。直接本機に接続してください。

初めて接続したとき

初めて接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。インストールはWindowsとMac OSで手順が異なります。

操作

Windowsの場合

①

自動的にドライバーのインストールが開始します。

Windows 2000搭載のコンピューターをお使いのときは、コンピューターで**マイコンピュータ - EPSON_PJ_UD - EMP_UDSE.EXE**をダブルクリックしてください。



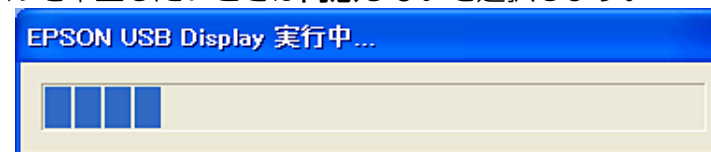
Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、インストール時にWindowsのエラーメッセージが表示されインストールできないことがあります。この場合は、Windowsをアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。

詳細は、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先にご相談ください。

②

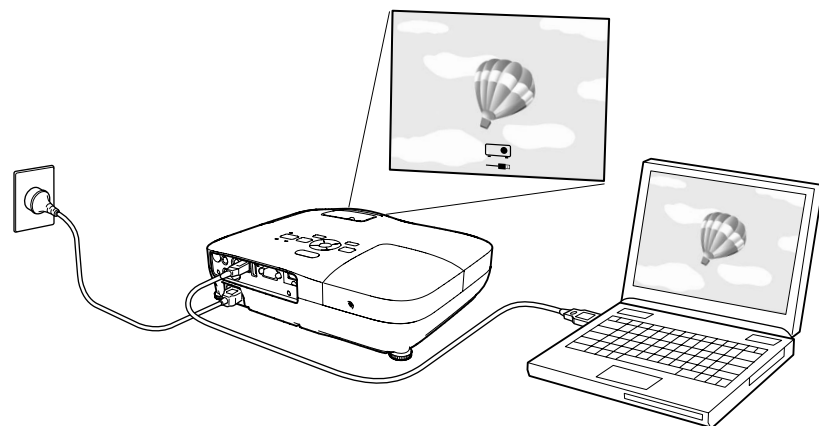
「同意する」を選択します。

ドライバーをインストールしないと、USBディスプレイを実行できません。必ず**同意する**を選択してください。万一、インストールを中止したいときは**同意しない**を選択します。



③ コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。



④ 終了するときはUSBケーブルを取り外します。

USBケーブルを取り外すときは、ハードウェアの安全な取り外しは必要ありません。



- 自動的にインストールされないときにはコンピューターでマイコン
ピューター - EPSON_PJ_UD - EMP_UDSE.EXEをダブルクリック
します。
- 万一、投写されないときにはコンピューターですべてのプログラム
- EPSON Projector - EPSON USB Display - EPSON USB Display
Vx.x をクリックします。

Mac OSの場合

① FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが表示されます。

② 「USB Display Installer」アイコンをダブルクリックします。
管理者権限のパスワードを入力して、インストールを開始します。

③ 画面の指示に従って、インストールを進めます。

④ 使用許諾画面が表示されたら、「同意する」を選択します。
同意するを選択しないと、USBディスプレイを実行できません。
投写を中止するときは同意しないを選択します。
インストールが完了すると、DockとメニューバーにUSBディス
プレーのアイコンが表示されます。

⑤ コンピューターの映像が投写されます。
コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がか
かることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSB
ケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状
態でお待ちください。

⑥ 終了するときはUSBケーブルを取り外します。
メニューバーのアイコン、またはDockアイコンをクリックして表
示されるメニューの切断を実行し、その後にUSBケーブルを抜い
てください。

次回接続時は「2 回目以降」 p.19をご覧ください。



- FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが自動的に表示されないときは、コンピューターで**EPSON PJ_UD - USB Display Installer**をダブルクリックしてください。
- 万一、投写されないときにはDockの**USBディスプレイ** アイコンをクリックします。
- Dockに**USBディスプレイ** アイコンがないときは、アプリケーションフォルダーの**USB Display**を実行します。
- Dockアイコンからのメニューの中にある**終了**を選択すると、次回USBケーブル接続時にUSBディスプレイが自動起動しなくなります。

2 回目以降

コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのままの状態でお待ちください。

アンインストール

Windowsの場合

- Windows 2000/Windows XP
コンピューターのコントロールパネル - プログラム(アプリケーション)の追加と削除 - **EPSON USB Display**を削除します。
- Windows Vista/Windows 7
コンピューターのコントロールパネル - プログラムのアンインストール - **EPSON USB Display**を削除します。

Mac OSの場合

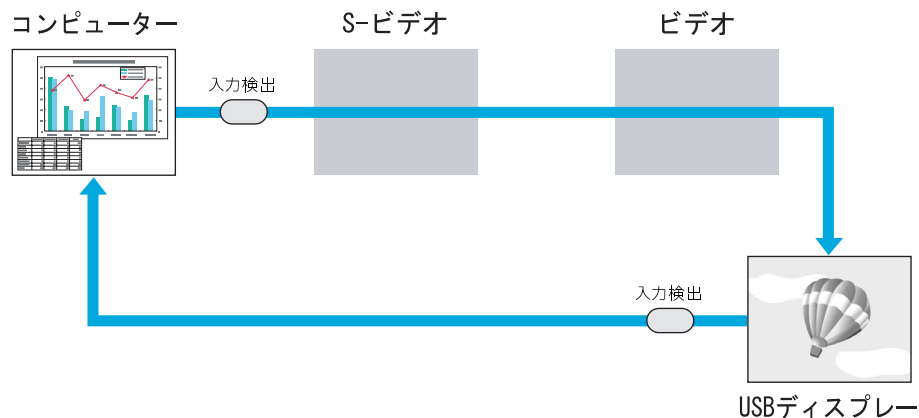
アプリケーションフォルダーのToolフォルダー内の**USB Display UnInstaller**を実行します。

投写する映像を切り替えるには以下の2通りの方法があります。

- 入力検出で切り替える
本機に接続している機器から映像信号が入力されているかを自動検出し、映像信号が入力されている機器の映像を投写します。
- ダイレクトに目的の映像に切り替える
リモコンから目的の入力端子のボタンを押して切り替えます。

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

[入力検出]ボタンで切り替えると、映像信号が入力されていない入力端子には切り替わりませんので、目的の映像をすばやく投写できます。



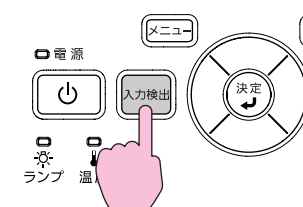
操作

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。

リモコンの場合



操作パネルの場合



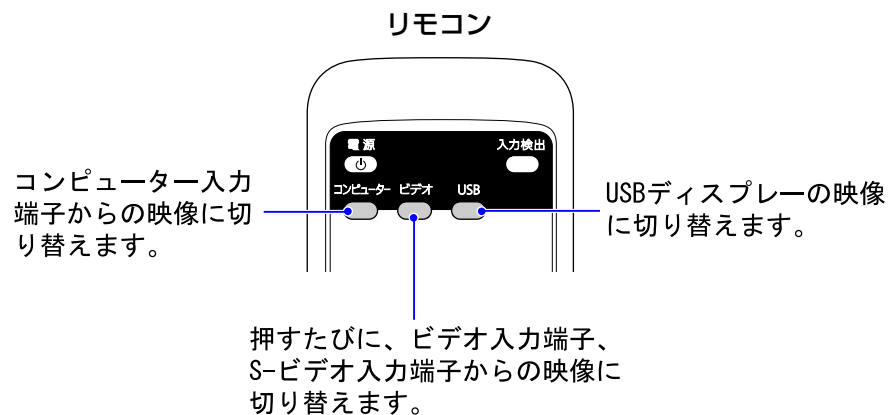
複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで[入力検出]ボタンを繰り返し押します。



現在投写されている映像信号しか入力されていない場合や映像信号がまったく入力されていないときは、映像信号の状態を示す以下の画面が表示されます。この画面では投写したい機器を接続している入力端子を選択することができます。何も操作しないと、約10秒で画面は消えます。

リモコンで目的の映像に切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。



映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

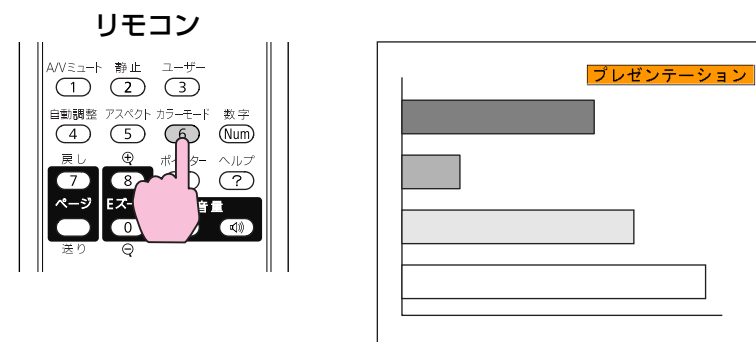
投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードで、暗部の階調表現に優れています。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB▶▶	sRGBに準拠した映像になります。
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。
ホワイトボード	ホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。

※1 RGB映像信号入力時と入力ソースがUSBディスプレイのときのみ選択できます。

※2 コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンポジットビデオ信号入力時のみ選択できます。

操作



ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。

カラーモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のカラーモードに切り替わります。



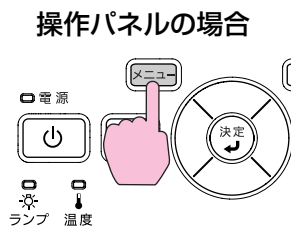
環境設定メニューの画質調整メニュー - カラーモードからも設定できます。▶▶ p.41

オートアイリス(自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

操作

- 1 [メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから画質調整メニュー - 「オートアイリス」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」 p.40



- 2 「オン」を選択します。
設定値はカラーモードごとに保存されます。
- 3 [メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



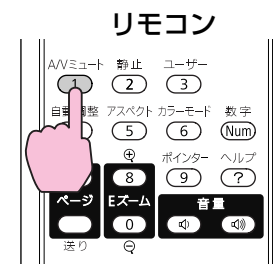
カラーモードがダイナミックまたはシアターに設定されているときに限り、オートアイリスの設定ができます。

映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

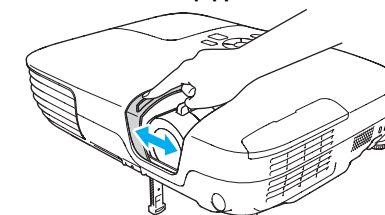
スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。



操作



本体



ボタンを押す、またはレンズカバーを閉/開するたびにAVミュートが実行/解除されます。



- 動画の場合は、AVミュート中も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- リモコンで操作したときのAVミュート中の表示状態は拡張設定メニュー - 表示設定 - AVミュートで黒、青、ロゴの中から選ぶことができます。☛ p.45
- レンズカバーを閉じた状態が約30分続くと、レンズカバータイマーが機能し、自動的に電源がオフになります。レンズカバータイマーを機能させたくないときは拡張設定メニュー - 動作設定 - レンズカバータイマーの設定をオフに変更します。☛ p.45

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

操作



ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。



- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に[静止]ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

アスペクト比を切り替える

ビデオ機器を接続し、デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写するときにはアスペクト比▶▶を切り替えます。コンピューター映像を投写サイズいっぱい投写するときなどもアスペクト比を切り替えます。

切り替え方法とアスペクトモードの種類は次のとおりです。

切り替え方法

操作



ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

アスペクトモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のアスペクトモードに切り替わります。

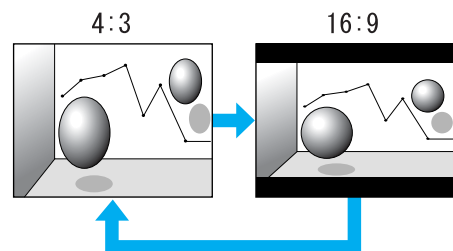


環境設定メニューの映像メニュー - アスペクトからも設定できます。▶▶ p.42

ビデオ機器の映像のアスペクト比を切り替える

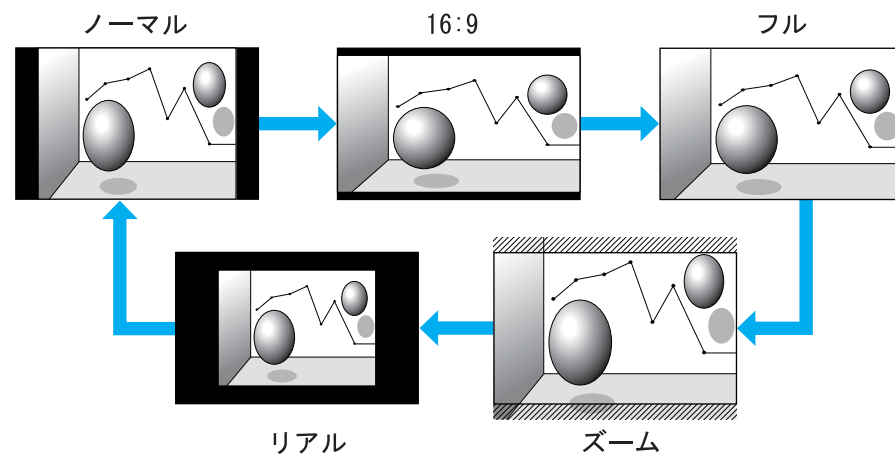
EB-X9/S9の場合

ボタンを押すたびに、**4:3**と**16:9**が切り替わります。





EB-W9の場合

ボタンを押すたびに、**ノーマル**、**16:9**、**フル**、**ズーム**、**リアル**の順で切り替わります。



コンピューター映像のアスペクト比を切り替える(EB-X9/S9の場合)

コンピューターからの映像投写時は、以下のようにアスペクト比を切り替えられます。

アスペクトモード	動作	投写例
ノーマル 入力ソースがコンピューターのとくに表示されます。	入力した映像のアスペクト比のまま投写サイズいっぱいになるように投写します。	
4:3	4:3のアスペクト比で投写サイズいっぱいになるように投写します。アスペクト比が5:4(1280x1024など)の映像を投写サイズいっぱい投写したいときなどに適しています。	1280x1024の信号入力時の場合  ノーマル → 4:3
16:9	16:9のアスペクト比で投写します。16:9のスクリーン使用時に、スクリーンいっぱい投写したいときに適しています。	1280x1024の信号入力時の場合  ノーマル → 16:9

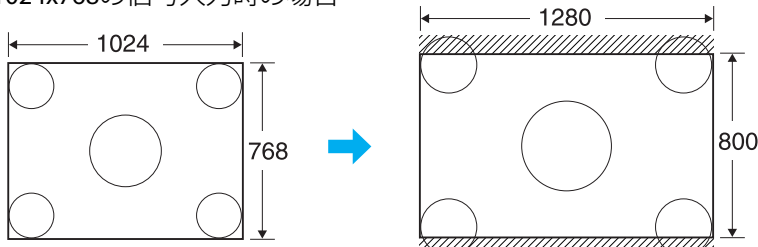
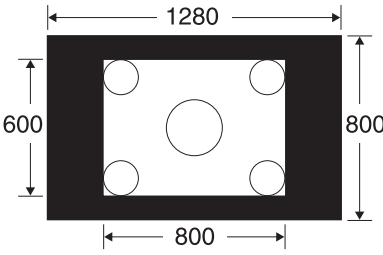
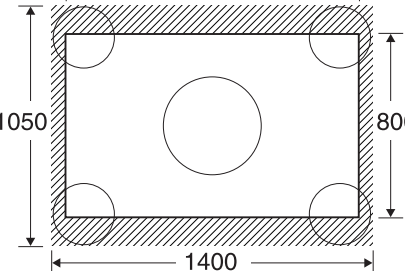


投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、環境設定メニューの**入力解像度**をお使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。👉 p.42

コンピューター映像のアスペクト比を切り替える(EB-W9の場合)

以下のようにアスペクト比を切り替えられます。EB-W9はパネル解像度がWXGAのため投写サイズは1280x800ドット(アスペクト比16:10)です。16:9のスクリーンに投写するときは、アスペクト比を**16:9**に設定してください。

アスペクトモード	動作	投写例
ノーマル	入力した映像のアスペクト比のまま投写サイズいっぱいになるように投写します。	1024x768の信号入力時の場合 
16:9	16:9のアスペクト比で投写サイズいっぱいになるように投写します。	1024x768の信号入力時の場合 
フル	投写サイズいっぱいになるように投写します。	1024x768の信号入力時の場合 

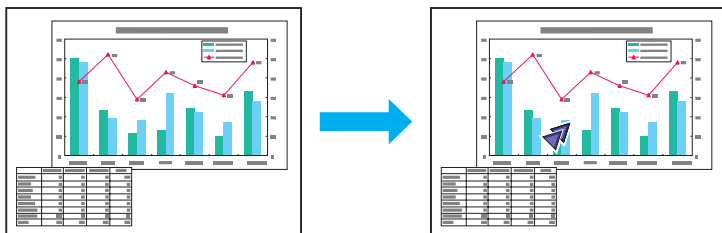
アスペクトモード	動作	投写例	
<p>ズーム</p>	<p>入力した映像のアスペクト比のまま横方向が投写サイズいっぱいになるように投写します。投写サイズをはみ出した分は投写されません。</p>	<p>1024x768の信号入力時の場合</p> 	
<p>リアル</p>	<p>入力した映像の解像度のまま投写サイズの中央に投写します。よりはっきり投写したいときに適しています。映像の解像度が1280x800を超えるときは、映像の周辺部分は投写されません。</p>	<p>800x600の信号入力時</p> 	<p>1400x1050の信号入力時</p> 



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、環境設定メニューの**入力解像度**をお使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて**ワイド**または**ノーマル**に設定してください。👉 [p.42](#)

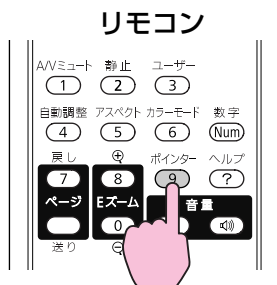
説明箇所を指し示す(ポインター)

ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使用します。



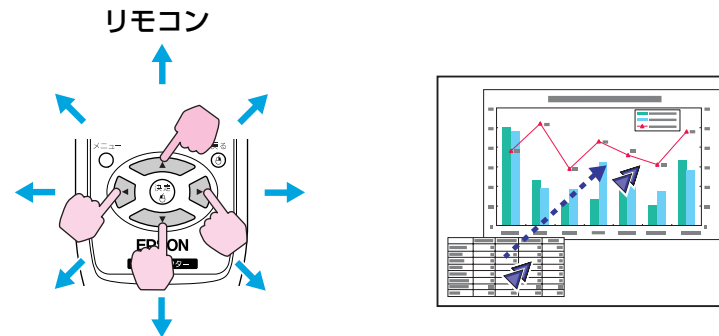
操作

① ポインターを表示します。



ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

② ポインターアイコン(➤)を移動します。



隣り合う[▲][▼][◀][▶]ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

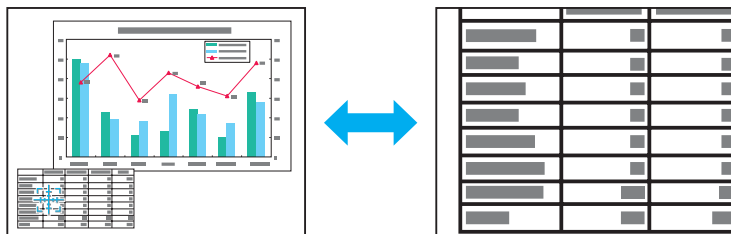


環境設定メニューの**設定メニュー** - **ポインター形状**でポインターアイコンの形状を3種類(➤・✖・➤)から設定できます。

☞ p.43

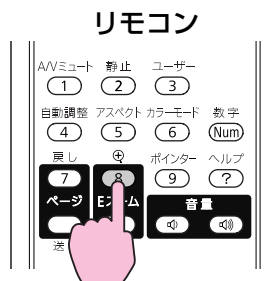
映像を部分的に拡大する(Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。

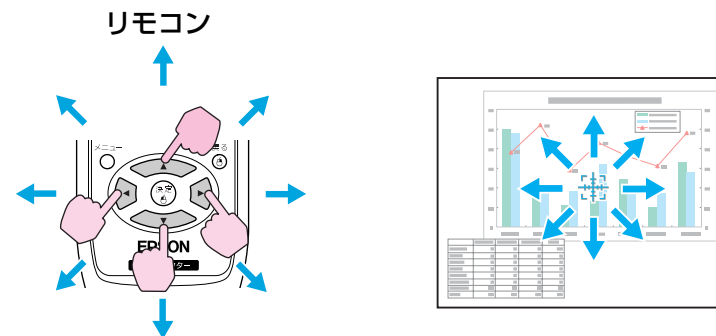


操作

- 1 Eズームを開始します。

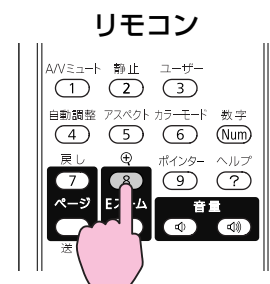


- 2 拡大表示したい部分にターゲットスコープ(十字)を移動させます。



隣り合う[△][▽][◀][▶]ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

- 3 拡大します。



ボタンを押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

[Q]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。

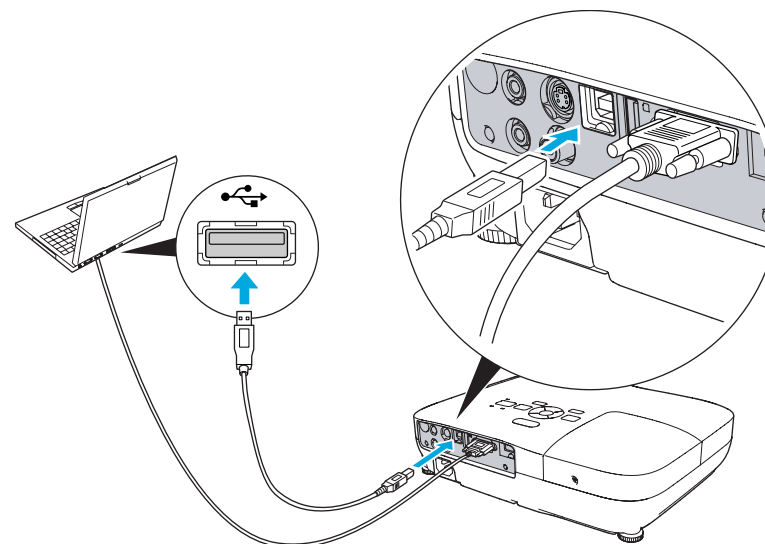
解除するには[戻る]ボタンを押します。



- 画面上に倍率が表示されます。 1~4倍まで、25段階で拡大できます。
- [◀] [▶] [⏪] [⏩] ボタンを押すと、映像をスクロールできます。

リモコンでマウス操作をする

コンピューターのUSB端子と、本機背面のUSB(TypeB)端子をUSBケーブルで接続すると、リモコンでコンピューターのマウスポインターを操作したり(ワイヤレスマウス機能)、 ページ送り/戻しの操作を行えます。



ワイヤレスマウス機能とページ送り/戻し機能を同時に使用することはできません。

	Windows	Mac OS
OS	Windows 98 Windows 98SE Windows Me Windows 2000 Windows XP Windows Vista Windows 7	Mac OS X 10.3.x Mac OS X 10.4.x Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x

ワイヤレスマウス

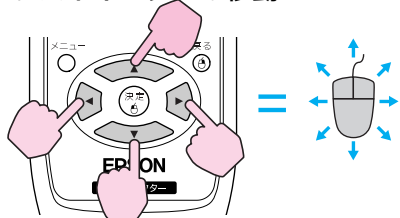
ワイヤレスマウス機能を実行するには、環境設定メニューの**拡張設定**メニュー - **USB Type B**を**ワイヤレスマウス**に設定します。初期設定では**USB Type B**はUSBディスプレイに設定されています。事前に設定の変更をしてください。👁️ p.45



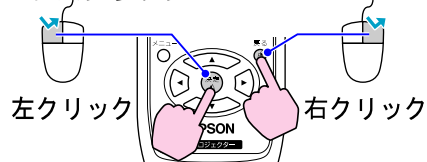
- ワイヤレスマウス機能は入力ソースが**コンピューター**のときのみ使用できます。USBディスプレイで投写中は使用できません。
- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピューター側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

コンピューターと本機をUSBケーブルで接続した後は、マウスポインターを次のように操作できます。

マウスポインターの移動

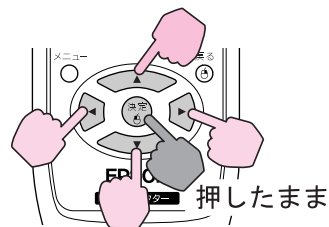


マウスクリック



左クリック：[決定]ボタンを押します。
 右クリック：[戻る]ボタンを押します。
 ダブルクリック：すばやく2回押します。

ドラッグ&ドロップ



- ① [決定]ボタンを押したまま、
 [決定]ボタンを押してドラッグします。
- ② 任意の場所で[決定]ボタンを離すと、ドロップします。



- 隣り合う[決定]ボタンを押すと斜め方向にも移動することができます。
- コンピューターでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 次の機能を使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は行えません。
 - ・環境設定メニュー表示中
 - ・ヘルプ表示中
 - ・Eズーム機能中
 - ・ユーザーロゴのキャプチャ中
 - ・ポインター機能中
 - ・音量調整中
 - ・USBディスプレイ投写中
 - ・テストパターン表示中
 - ・カラーモード設定中
 - ・カラーモード名表示中
 - ・入力ソース名表示中
 - ・入力ソース切り替え中

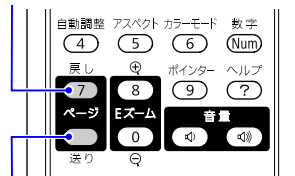
ページ送り/戻し

リモコンでページ送り/戻しの操作をするには、環境設定メニューの**拡張設定メニュー - USB Type B**を**ページ送り/戻し**に設定します。USBディスプレイで投写しているときは、設定を変更することなく、そのままリモコンでページ送り/戻しの操作が行えます。

ページ送り/戻しの操作例

PowerPointのスライドショーで、**前のスライドを表示/次のスライドを表示**

前のスライドへ



次のスライドへ

本機には、次の充実したセキュリティー機能が備わっています。

- **パスワードプロテクト**
本機を使用する人を制限・管理できます。
- **操作ボタンロック**
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。☞ p.37
- **盗難防止用ロック**
本機には機器そのものを持ち出されないように、多様な盗難防止の機構が備わっています。☞ p.38

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の2種類の設定ができます。

1. 電源投入時

電源投入時をオンにすると、電源ケーブルで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

2. ユーザーロゴ保護

せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。**ユーザーロゴ保護**をオンにすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。

- ユーザーロゴのキャプチャ
- 環境設定メニューの**表示設定**で**背景表示**、**スタートアップスクリーン**、**AVミュート**の設定を変更する。

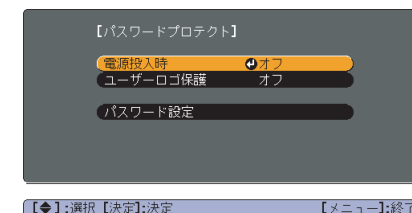
パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作

- 1 本機で投写中に**[静止]**ボタンを約5秒間押し続けます。パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン



- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。☞ 「パスワードの認証」 p.36
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 「電源投入時」を有効にします。

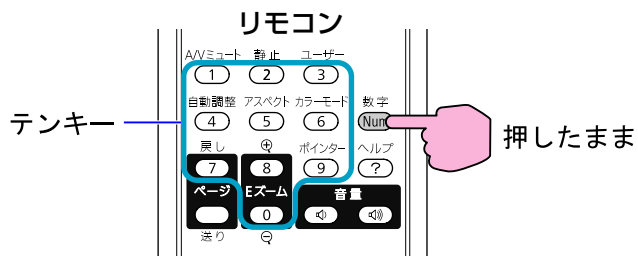
- (1) 電源投入時を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

3 「ユーザーロゴ保護」を有効にします。

- (1) ユーザーロゴ保護を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) オンを選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。

4 パスワードを設定します。

- (1) パスワード設定を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか?」と表示されるので、はいを選択し、[決定]ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。いいえを選択すると、手順1の画面に戻ります。
- (3) [数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。



- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら設定してあるパスワードをリモコンの数字ボタンを使って入力します。

操作

[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。

正しいパスワードを入力し終わると投写が開始されます。

注意

- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「**プロジェクターの動作を停止します。**」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜いたまま約30秒ほどお待ちいただいた後に電源プラグを差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている**問い合わせコード**：xxxxxの番号を控えて、Endeavorプロジェクターサポートにご連絡いただき、その指示に従ってください。
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「**プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。**」

操作を制限する(操作ボタンロック)

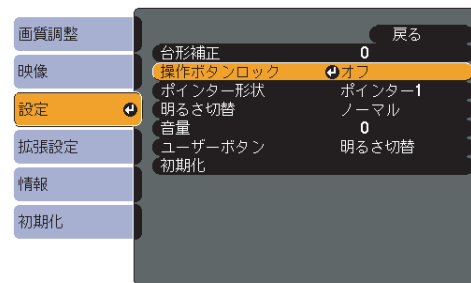
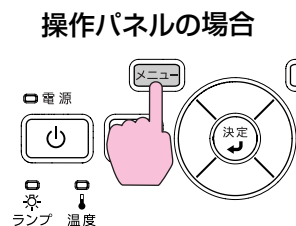
次のどちらかを選んで本機の実操作パネルのボタンをロックできます。

- 全ロック
操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
操作パネルの[⏏]ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

イベントやショーなどで投写するだけで操作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから設定メニュー - 「操作ボタンロック」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」 p.40



【戻る】:戻る 【◀】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

2

「全ロック」か「操作ロック」のどちらかを選択します。



【戻る】:戻る 【◀】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

3

確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選びます。設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。



操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの**設定メニュー - 操作ボタンロック**をオフに設定します。
- 操作パネルの[決定]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

盗難防止用ロック

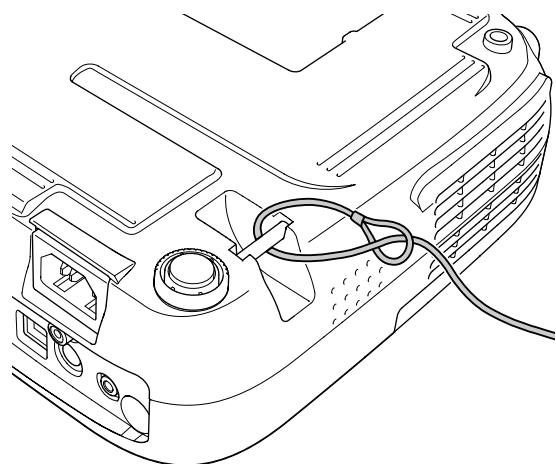
本機は無人になる部屋に天吊りなど固定設置されても、機器そのものを持ち出されないように次の機構があります。

- セキュリティスロット
Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。マイクロサーバーセキュリティシステムの詳細は、Kensingtonのホームページ <http://www.kensington.com/>でご確認ください。
- セキュリティケーブル取付け部
市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の『取扱説明書』をご覧ください。



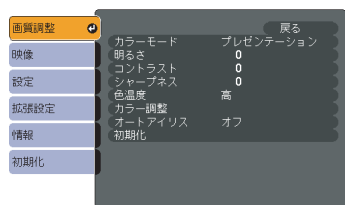


環境設定メニュー

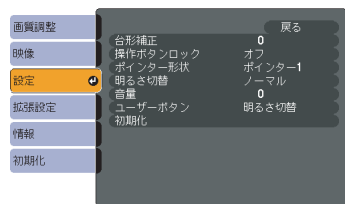
ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

1

トップメニューの選択



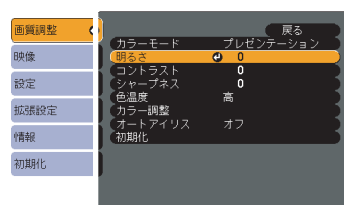
【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了



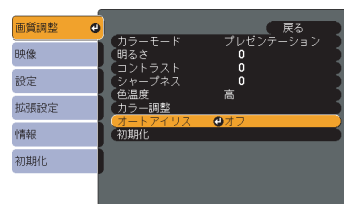
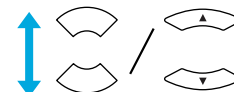
【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

2

サブメニューの選択



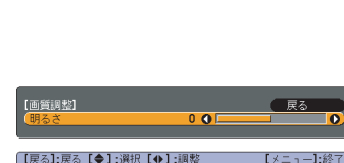
【戻る】:戻る 【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了



【戻る】:戻る 【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

3

選択した項目の変更



【戻る】:戻る 【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了



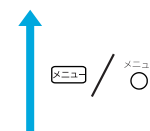
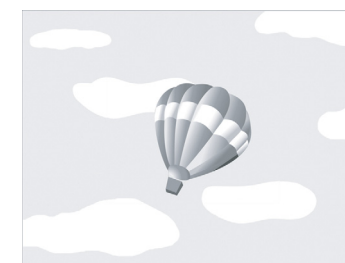
【戻る】:戻る 【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了



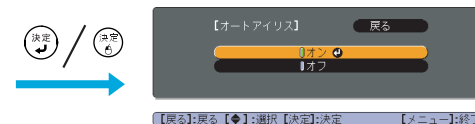
【戻る】:戻る 【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

4

終了



変更したい設定を選んで



【戻る】:戻る 【決定】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

使用するボタン

操作パネルの場合



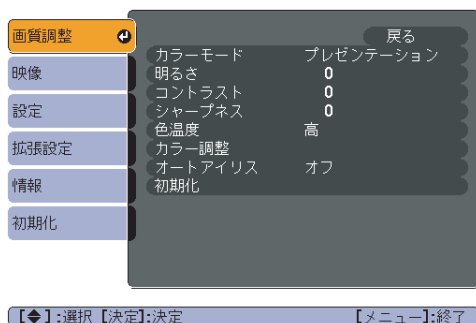
リモコンの場合



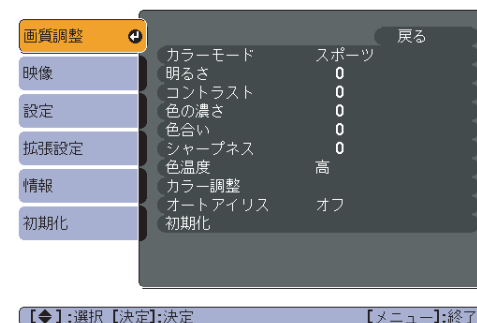
画質調整メニュー

現在投写している入力ソースにより設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

コンピューター※1/USBディスプレイ



コンピューター※2/s-ビデオ/ビデオ



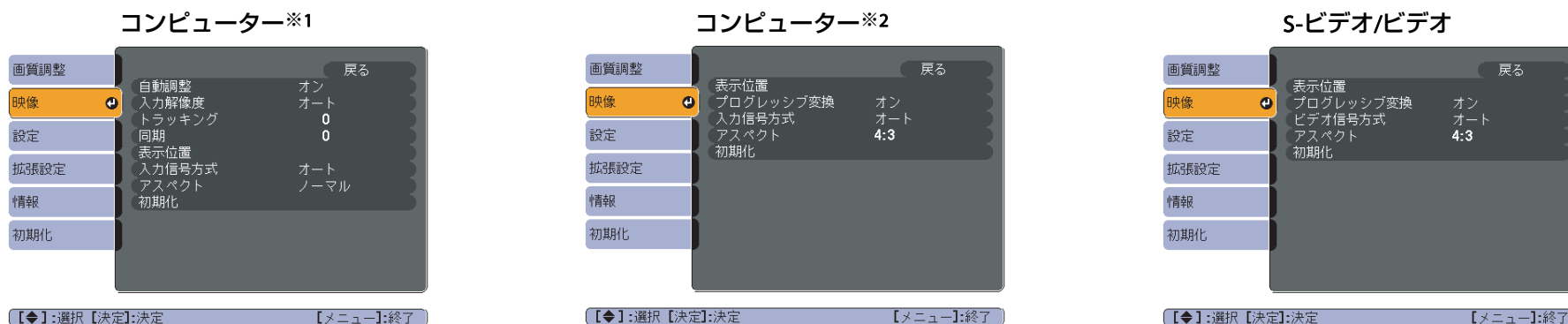
※1 RGB信号入力時

※2 コンポーネントビデオ信号入力時

サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。☛ p.22
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	(コンポジットビデオ/s-ビデオの場合は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
色温度	(画質調整 - カラーモードをsRGBに設定しているときは設定不可) 映像全体の色合いを調整します。高を選択すると青みがかった映像になり、低を選択すると赤みを帯びた映像になります。
カラー調整	(画質調整メニュー - カラーモードをsRGBに設定していると、本項目は選択できません。) 赤、緑、青：各色の強さを個別に調整します。
オートアイリス	(画質調整メニュー - カラーモードをダイナミック、シアターに設定しているときに限り本項目は選択できます。) 映像に合わせて最適な光量に調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。☛ p.23
初期化	画質調整メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは☛ p.48

映像メニュー

現在投写している入力ソースにより設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は入力ソースとその映像信号ごとに保持されます。入力ソースがUSBディスプレイのときは、映像メニューの設定は行えません。



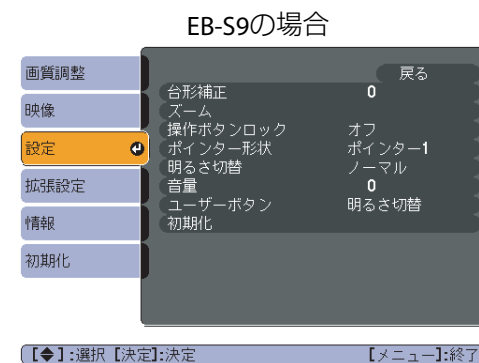
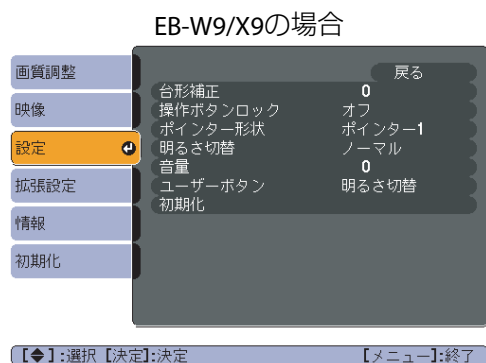
※1 RGB信号入力時




※2 コンポーネントビデオ信号入力時


サブメニュー	機能
自動調整	入力信号が切り替わったときに、映像を最適な状態に自動調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。
入力解像度	オートにしていると、入力信号の解像度を自動で判別します。オートに設定して投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面はワイドに、4:3や5:4画面はノーマルに設定してください。
トラッキング▶▶	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期▶▶	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
表示位置	映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	(コンポーネントビデオ入力時は、480i/576i信号入力時のみ設定可能。) オフ：IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 オン：インターレース▶▶(i)信号をプログレッシブ▶▶(p)に変換します。静止画に適しています。
入力信号方式	コンピューター入力端子からの入力信号を選択します。 オートにすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 オートに設定していて、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。

サブメニュー	機能
ビデオ信号方式	S-ビデオ入力端子/ビデオ入力端子からの入力信号を選択します。 オート にすると、ビデオ信号を自動認識します。 オート に設定して、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
アスペクト	映像のアスペクト比▶▶に応じてアスペクトモードを設定します。👉 p.25
初期化	映像メニューのうち、 入力信号方式 を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは👉 p.48

設定メニュー



サブメニュー	機能
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。👉『 セットアップガイド 』
ズーム (EB-S9のみ)	投写画面のサイズを ワイド (大)、 テレ (小)で調整します。
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。👉 p.37
ポインター形状	ポインターの形状を選択します。👉 p.30 ポインター1:  ポインター2:  ポインター3: 
明るさ切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは エコ に設定します。 エコ で使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。消費電力：約19%減、ランプ寿命：約1.3倍

サブメニュー	機能
音量	音量を調整します。設定した内容は入力ソースとその映像信号ごとに保持されます。
ユーザーボタン	リモコンの[ユーザー]ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。[ユーザー]ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。[ユーザー]ボタンに割り当てることのできるのは以下の項目です。 明るさ切替、情報、プログレッシブ変換、入力解像度
初期化	設定メニューのうち ユーザーボタン を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.48

拡張設定メニュー



サブメニュー	機能
表示設定	<p>本機の表示に関する設定を行います。</p> <p>メッセージ表示：オフに設定すると、次の表示がされなくなります。入力ソースやカラーモード、アスペクトを切り替えた時の項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。</p> <p>背景表示※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を黒、青、ロゴのいずれかで設定します。</p> <p>スタートアップスクリーン※1：スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を起動時に表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。</p> <p>AVミュート※1：AVミュート時に表示する画面を黒、青、ロゴのいずれかで設定します。</p>
ユーザーロゴ※1	<p>背景表示、AVミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。👉 p.72</p>
設定モード	<p>本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。👉 p.63</p> <p>フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り</p> <p>リモコンの[AVミュート]ボタンを約5秒間押し続けると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。</p> <p>フロント↔フロント・天吊り</p> <p>リア↔リア・天吊り</p>

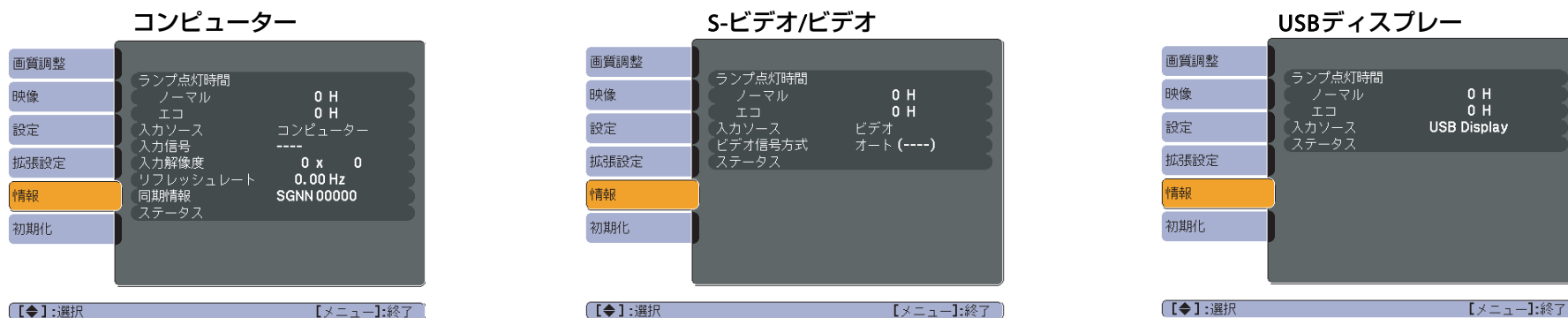
サブメニュー	機能
動作設定	<p>ダイレクトパワーオン：ダイレクトパワーオンさせる(オン)/させない(オフ)を設定します。 オンに設定しているときは、停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>スリープモード：オンに設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。</p> <p>スリープモード時間：スリープモードをオンにしたときに自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲を1分単位で設定します。</p> <p>レンズカバータイマー：オンに設定するとレンズカバーを閉めてから約30分後に自動で電源を切ります。お買い上げ時にはレンズカバータイマーはオンになっています。</p> <p>高地モード：標高約1500m以上でお使いの場合はオンにします。</p>
待機モード	<p>本機がスタンバイ状態のときも、コンピューターからUSB通信で本機の状態を監視・制御するときは、通信オンに設定します。 ☞ p.79</p>
USB Type B	<p>本機とコンピューターをUSBケーブルで接続してコンピューターの映像を投写するときにはUSB Displayに設定します。 ☞ p.16</p> <p>リモコンでマウスポインターを操作するときはワイヤレスマウスに設定します。☞ p.32</p> <p>リモコンでページ送り/戻しの操作をするときはページ送り/戻しに設定します。☞ p.34</p>
Link 21L	<p>コンピューターからUSB通信で本機の状態を監視・制御するときは、オンに設定します。☞ p.79</p>
言語	<p>メッセージやメニューに表示する言語を設定します。</p>
初期化	<p>拡張設定メニューのうち、表示設定※1、動作設定※2の調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは☞ p.48</p>

※1 パスワードプロテクトの**ユーザーロゴ保護**をオンにしていると、ユーザーロゴに関する設定などの変更はできません。**ユーザーロゴ保護**をオフにしてから設定を変更してください。☞ p.35

※2 高地モードは除く。

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が以下の画面図のとおり異なります。



サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示しています。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	映像メニューの 入力信号方式 の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	映像メニューの ビデオ信号方式 の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート▶▶	リフレッシュレートを表示しています。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 入力信号方式、ユーザーロゴ、ランプ点灯時間、言語は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアし、「0H」に戻します。ランプを交換したときに行ってください。



困ったときに

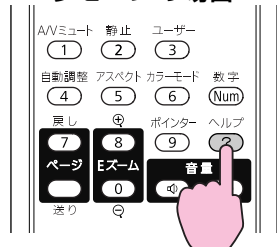
ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

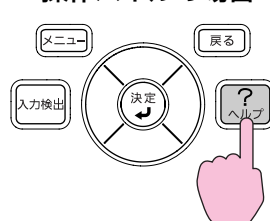
操作

- ① [ヘルプ]ボタンを押します。
ヘルプ画面が表示されます。

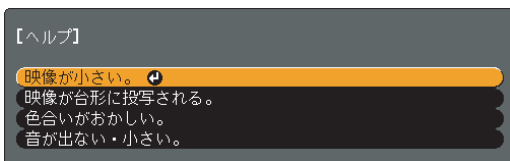
リモコンの場合



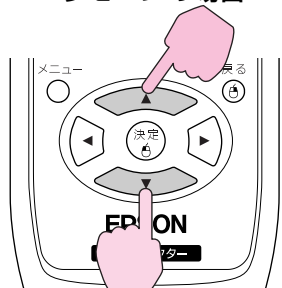
操作パネルの場合



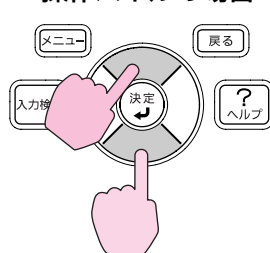
- ② 項目を選択します。



リモコンの場合



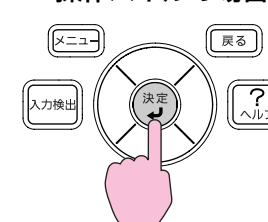
操作パネルの場合



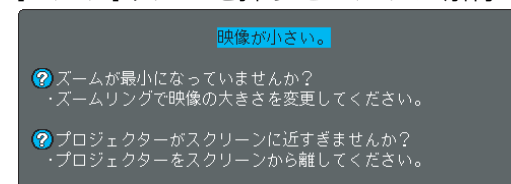
- ③ 項目を決定します。



操作パネルの場合



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。
[ヘルプ]ボタンを押すとヘルプは解除されます。

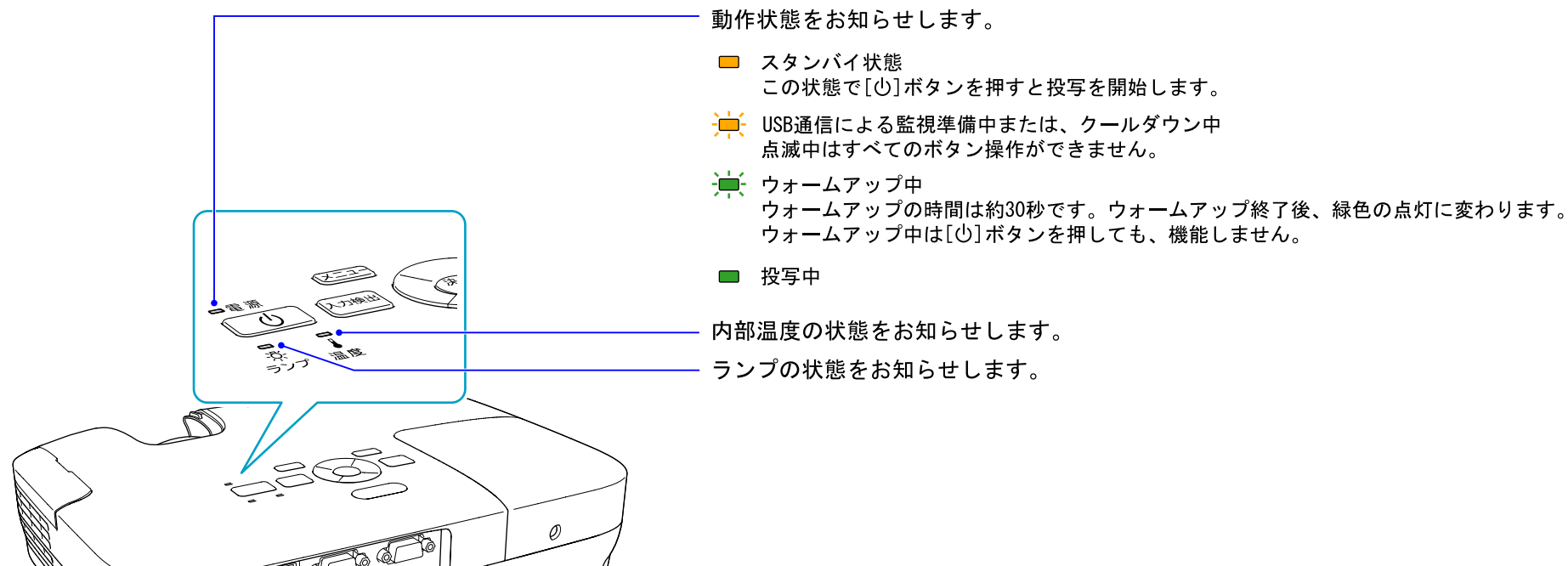


ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」p.51をご覧ください。

故障かな？と思ったら、まず本機のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を確認してください。👉 p.54

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態をお知らせします。



インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

電源ケーブルを抜いてもインジケータがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。










④ インジケーターが赤色点灯/点滅時

■ : 点灯 ■ : 点滅 □ : 消灯

状態	原因	処置または状態
	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。
	ファン異常 センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。
	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。☞ p.64, p.69 上記を確認後もエラーになるとき:ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。 標高1500m以上の場所でお使いのときは、 高地モードをオン にしてください。☞ p.45
	ランプ異常 ランプ点灯失敗	次の2点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。☞ p.66 エアフィルターを掃除します。☞ p.64 割れていないとき: ランプを再セットして、電源を入れます。 それでもエラーになるとき: 新しいランプに交換してから電源を入れます。 それでもエラーになるとき: ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。 割れているとき: お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。 標高1500m以上の場所でお使いのときは、 高地モードをオン にしてください。☞ p.45
	オートアイリス異常 電源系異常(バラスト)	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。

⚡ インジケータがオレンジ点灯/点滅時

■ : 点灯 ■ (with red border) : 点滅 □ : 消灯 ◻ : 本機の状態により異なる場合

状態	原因	処置または状態
 □    	高温警告	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。) • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 • エアフィルターが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。☛ p.64, p.69
◻  □   	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。☛ p.66 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。














- インジケータは異常を示していないのに、投写映像が異常のときは、「インジケータを見てもわからないとき」 p.54をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。





インジケータを見てわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。




投写に関するトラブル

- 「電源が入らない」  p.55
- 「映像が表示されない」  p.55
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 「動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)」  p.56
コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。
- 「自動的に投写が消える」  p.56
- 「「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される」  p.56
- 「「映像信号が入力されていません。」と表示される」  p.56
- 「ぼやける、ピントが合わない」  p.57
- 「ノイズが入る、乱れる」  p.57
ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 「映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない」  p.58
映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくないなど...
- 「色合いが違う」  p.58
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...(コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 「暗い」  p.59

USB ディスプレーに関するトラブル

- 「映像が表示されない」  p.60
USBケーブルを接続しても表示されないときなど...
- 「映像の一部が表示されない」  p.60
- 「マウスカーソルがちらつく」  p.60
- 「Windows Media Centerが投写できない」  p.60

その他のトラブル

- 「音が出ない・小さすぎる」  p.61
- 「リモコンで操作できない」  p.61
- 「メッセージやメニューの言語を変更したい」  p.61

投写に関するトラブル

電源が入らない

確認	対処法
[⏻]ボタンを押しましたか？	[⏻]ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、電気が供給されていません。電源ケーブルを抜いて差し直してください。☛『セットアップガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先にご相談ください。
操作ボタンロックが全ロックになっていませんか？	リモコンの[⏻]ボタンを押します。操作ボタンロックを働かせないときは設定をオフにしてください。 ☛ 設定メニュー - 操作ボタンロック p.37

映像が表示されない

確認	対処法
[⏻]ボタンを押しましたか？	[⏻]ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛『セットアップガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.23
レンズカバーが閉じていませんか？	レンズカバーを開けます。☛ p.9
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。☛ 初期化メニュー - 全初期化 p.48
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピューター投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.42

動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)

確認	対処法
<p>コンピューター映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？</p> <p>ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ</p>	<p>映像信号を外部のみの出力に切り替えます。☛ コンピューターに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。</p>

自動的に投写が消える

確認	対処法
<p>スリープモードをオンにしていますか？</p>	<p>[⏻]ボタンを押して電源を入れます。スリープモードを働かせないときは設定をオフにしてください。 ☛ 拡張設定メニュー - 動作設定 - スリープモード p.45</p>

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
<p>映像の信号形式の設定は合っていますか？</p> <p>ビデオ機器投写時のみ</p>	<p>接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - ビデオ信号方式 p.42</p>
<p>映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？</p> <p>コンピューター投写時のみ</p>	<p>コンピューターから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。☛ 「対応解像度一覧」 p.80</p>

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
<p>ケーブル類が正しく接続されていますか？</p>	<p>投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ 『セットアップガイド』</p>
<p>接続した入力端子を正しく選択していますか？</p>	<p>リモコンか操作パネルの[入力検出]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p.20</p>
<p>接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？</p>	<p>それぞれの機器の電源を入れます。</p>

確認	対処法
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。☛ コンピューターの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」など本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。☛ 『セットアップガイド』

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスリングでピントを合わせます。☛ 『セットアップガイド』
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。☛ p.74
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛ 『セットアップガイド』
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー-ビデオ信号方式p.42
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ 『セットアップガイド』
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピューター投写時のみ	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.80 ☛ コンピューターの『取扱説明書』など
「同期▶▶・トラッキング▶▶」は正しく調整されていますか？ コンピューター投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの同期、トラッキングで調整することもできます。 ☛ 映像メニュー-トラッキング、同期p.42

映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない

確認	対処法
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ コンピューター投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 映像メニュー - 入力解像度p.42
Eズームで拡大したままになっていませんか？ 表示位置は正しく調整されていますか？	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p.31 コンピューター映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの 表示位置 で調整することもできます。 コンピューター映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの 表示位置 で調整します。☛ 映像メニュー - 表示位置p.42
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピューター投写時のみ	接続しているコンピューターのコントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。☛ コンピューターのビデオドライバーの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピューター投写時のみ	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」p.80 ☛ コンピューターの『取扱説明書』 など

色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 コンピューター入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ 映像メニュー - 入力信号方式p.42 ビデオ、S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ 映像メニュー - ビデオ信号方式p.42
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの 明るさ を調整してください。☛ 画質調整メニュー - 明るさp.41
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ 『セットアップガイド』
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの コントラスト を調整してください。☛ 画質調整メニュー - コントラストp.41
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの カラー調整 を調整してください。☛ 画質調整メニュー - カラー調整p.41
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの 色の濃さ、色合い を調整してください。☛ 画質調整メニュー - 色の濃さ、色合いp.41

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの 明るさ や 明るさ切替 を設定してください。 ☛ 画質調整メニュー - 明るさ p.41 ☛ 設定メニュー - 明るさ切替 p.43
コントラスト ▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの コントラスト を調整してください。 ☛ 画質調整メニュー - コントラスト p.41
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.66

USBディスプレイに関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
環境設定メニューの設定は正しいですか？	USBディスプレイを使うときは、 USB TypeB の設定を USB Display に設定してください。☛ 拡張設定 メニュー - USB Type Bp.16
USBケーブルが正しく接続されていますか？	USBケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違っ て接続されている場合は、接続し直します。

映像の一部が表示されない

確認	対処法
WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ Windowsの場合	WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。

マウスカーソルがちらつく

確認	対処法
「レイヤードウインドウの転送」にチェックマークが入っていませんか？	コンピューターで すべてのプログラム - EPSON Projector - EPSON USB Display - EPSON USB Display Vx.x の設定で、 レイヤードウインドウの転送 のチェックを外します。

Windows Media Centerが投写できない

確認	対処法
Windows Media Centerを全画面で表示していませんか？ Windowsの場合	USBディスプレイでは、Windows Media Centerを全画面で表示して投写することはできません。

その他のトラブル

音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	音声入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。👉 p.43 👉 『セットアップガイド』
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。👉 p.23
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲👉 『セットアップガイド』
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。👉 『セットアップガイド』
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。👉 p.65

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの「言語」で設定を変更してください。👉 p.45



付 録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

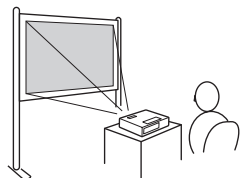
警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

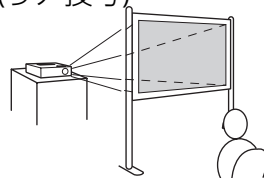
注意

本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。

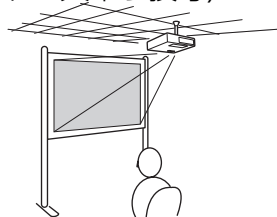
- 正面から投写する(フロント投写)



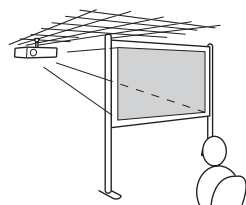
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



- 天吊りして正面から投写する(フロント・天吊り投写)



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・天吊り投写)



リモコンの[AVミュート]ボタンを約5秒間押し続けると、次のように設定を切り替えることができます。

フロント⇄フロント・天吊り

リア、リア・天吊りに設定するには環境設定メニューで行います。

☛ p.45

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

注意

掃除をするときは、本機の電源をオフにしてから行ってください。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

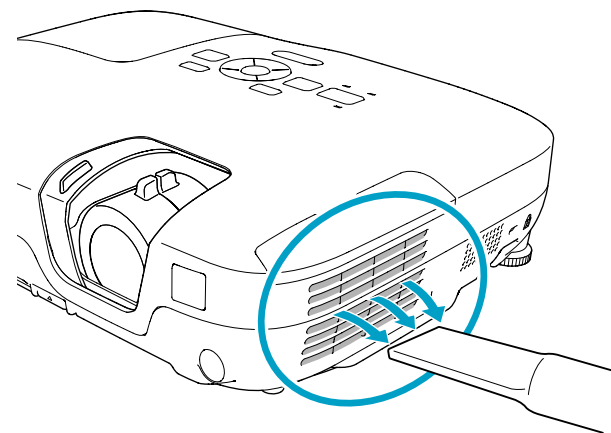
エアフィルターの掃除

下記のメッセージが表示されたらエアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。



- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。👉 p.69
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

リモコンの電池の交換方法

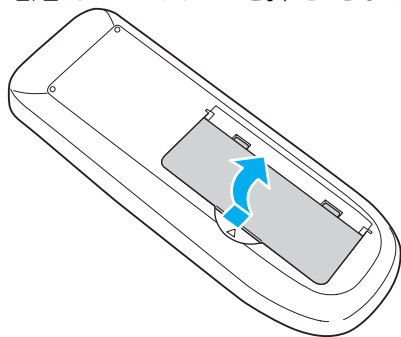
使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用できません。

注意

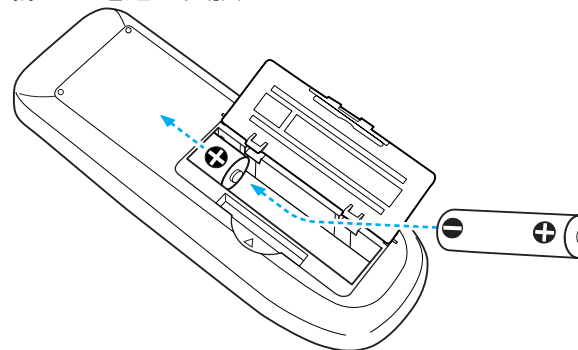
電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。☞『安全にお使いいただくために』

操作

- 1 電池カバーを外します。
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



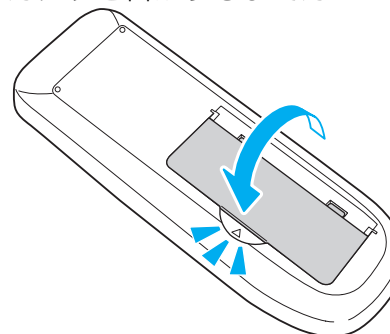
- 2 新しい電池と交換します。



注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。

- 3 電池カバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

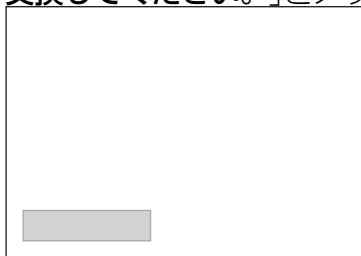


ランプの交換

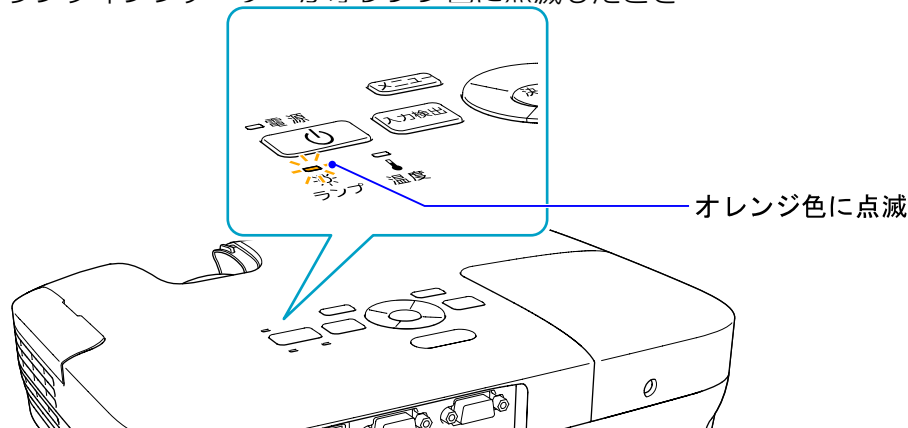
ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに下図のように投写画面の左下に「**投写ランプを交換してください。**」とメッセージが表示されたとき



- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。● p.43
- **明るさ切替：ノーマル**で使い続けた場合：約3900時間
- **明るさ切替：エコ**で使い続けた場合：約4900時間
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。

ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

警告

- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

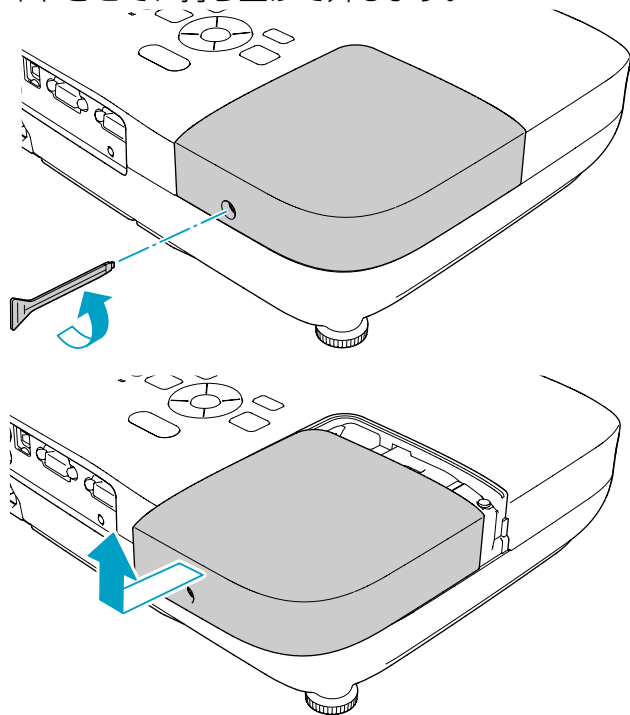
注意

ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

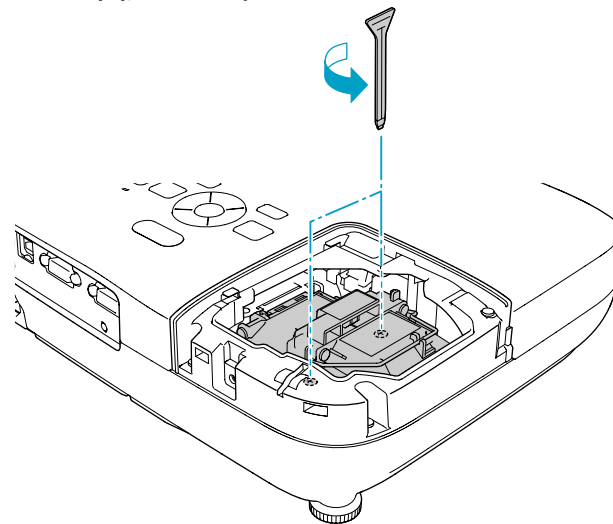
操作

① 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。

② ランプが十分冷えてから、本機上面のランプカバーを外します。ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバー、または+のドライバーでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。

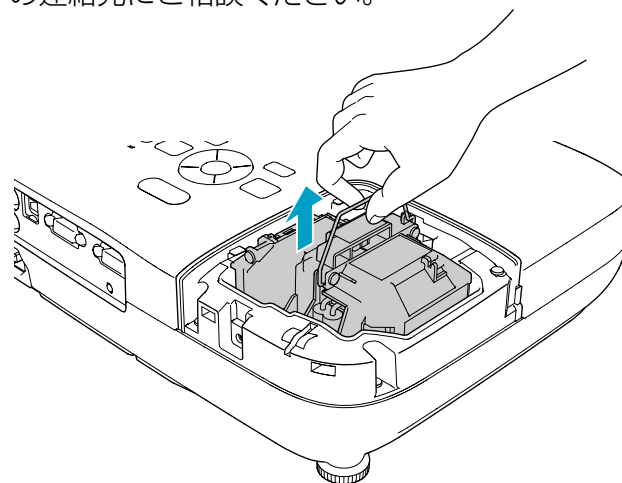


③ ランプ固定ねじ2本をゆるめます。



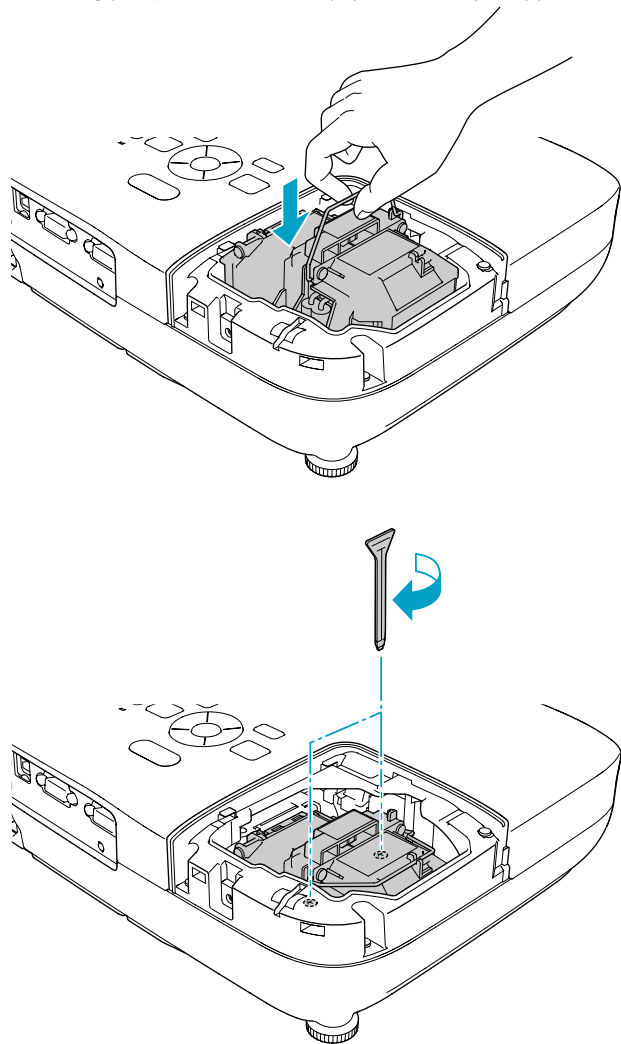
④ 古いランプを取っ手をつまんで取り出します。

ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先にご相談ください。

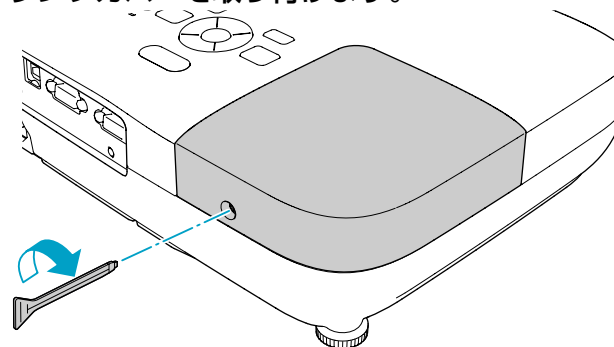


5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。



注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。☛ p.48



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

エアフィルターの交換

エアフィルターの交換時期

次の場合はエアフィルターを交換してください。

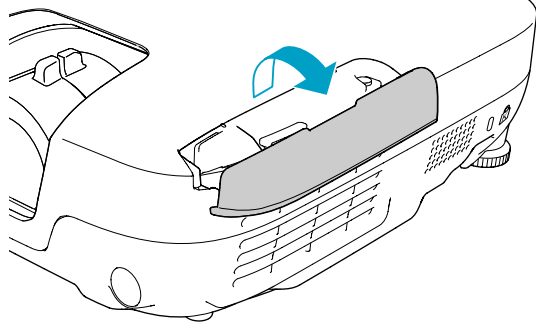
- エアフィルターが破れているとき。
- エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるとき。

エアフィルターの交換方法

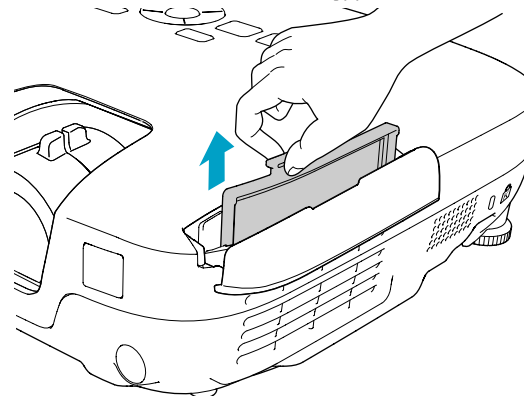
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

操作

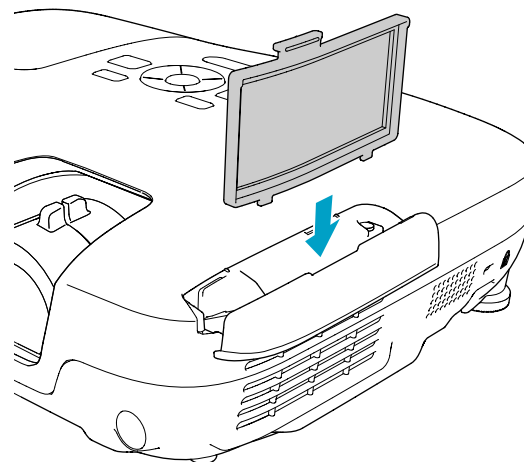
- 1 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。
- 2 エアフィルターカバーを開けます。



- 3 エアフィルターを取り外します。
エアフィルターのタブに指をかけて、まっすぐ引き出します。



- 4 新しいエアフィルターを取り付けます。
外側からエアフィルターをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



- 5 エアフィルターカバーを閉めます。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

枠部分の材質：ABS

フィルター部分の材質：ポリウレタンフォーム

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2010年5月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

60型スクリーン ELPSC27

80型スクリーン ELPSC28

100型スクリーン ELPSC29

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比▶▶4:3)

53型スクリーン ELPSC30

64型スクリーン ELPSC31

黒板などに貼り付けて使用するマグネット式スクリーンです。(アスペクト比▶▶4:3)

コンピューターケーブル ELPKC02

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)

製品同梱のコンピューターケーブルと同等品です。

コンピューターケーブル ELPKC09

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)

コンピューターケーブル ELPKC10

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)

製品同梱のコンピューターケーブルでは短いときの延長ケーブルです。

D端子ケーブル ELPKC22

(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)

映像機器のD端子と接続するときに使います。

コンポーネントビデオケーブル ELPKC19

(ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m)

コンポーネントビデオ▶▶を投写するときに使います。

書画カメラ ELPDC06

コンピューター経由で本機と接続して、書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

消耗品

交換用ランプ ELPLP58

使用済みランプと交換します。

エアフィルター ELPAF25

使用済みエアフィルターと交換します。

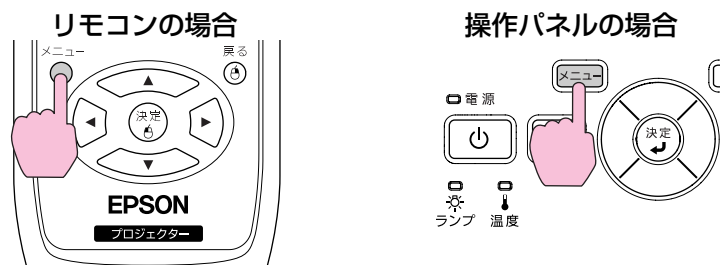
現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。



ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

操作

- 1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンを押します。



- 2 環境設定メニューから拡張設定メニュー - 「ユーザーロゴ」を選びます。☛「環境設定メニューの操作」 p.40
使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。



[戻る]:戻る [↔]:選択 [決定]:決定 [メニュー]:終了



- パスワードプロテクトでユーザーロゴ保護をオンに設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。ユーザーロゴ保護をオフにしてから操作してください。☛ p.35
- 台形補正、Eズーム、アスペクトを行っているときにユーザーロゴを選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。



- 3 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか?」と表示されるので、「はい」を選択します。



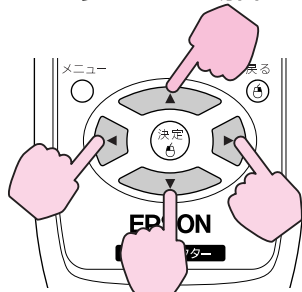
リモコンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。



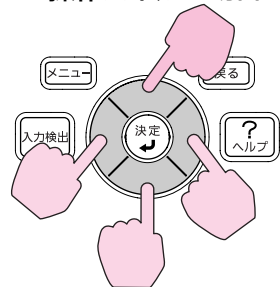
- 4 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。



リモコンの場合



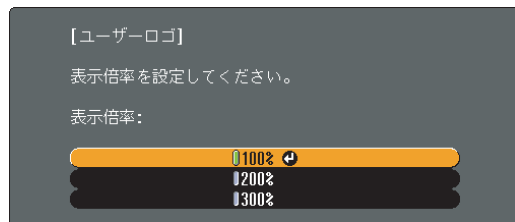
操作パネルの場合



登録できるサイズは400 × 300ドットです。

5 「この映像を使用しますか?」と表示されるので、「はい」を選択します。

6 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



[戻る]:戻る [◆]:選択 [決定]:決定 [メニュー]:終了

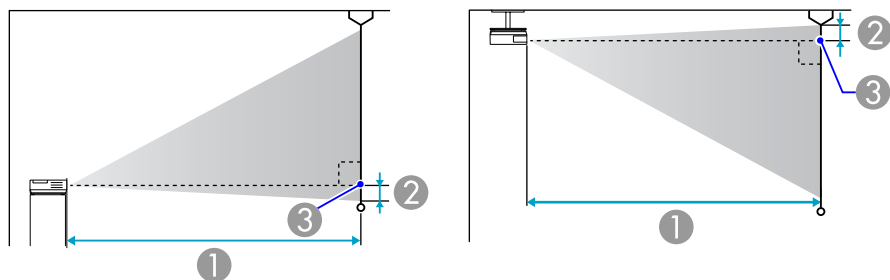
7 「この映像を保存しますか?」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。
- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。

EB-W9の投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
40型	89x50	114 ~ 137	5
50型	110x62	143 ~ 172	6
60型	130x75	172 ~ 208	8
80型	180x100	231 ~ 278	10
100型	220x120	289 ~ 348	13
120型	270x150	348 ~ 418	15
150型	330x190	435 ~ 523	19
200型	440x250	582 ~ 699	26
250型	550x310	728 ~ 874	32
310型	690x390	903 ~ 1084	40

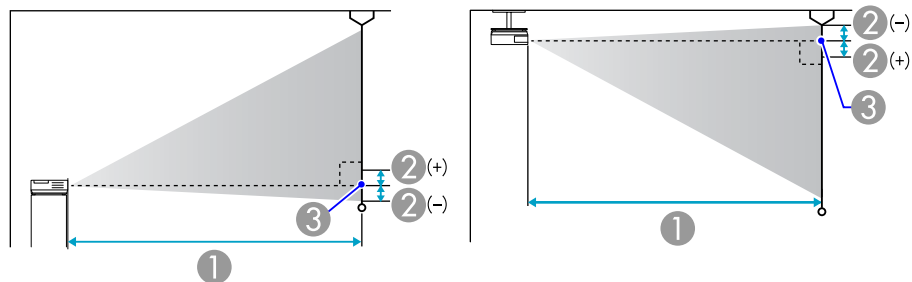
単位：cm

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
40型	81x61	126 ~ 152	9
50型	100x76	158 ~ 190	11
60型	120x91	190 ~ 229	13
80型	160x120	255 ~ 306	17
100型	200x150	319 ~ 383	22
120型	240x180	383 ~ 461	26
150型	300x230	480 ~ 577	33
200型	410x300	641 ~ 770	44
250型	510x380	802 ~ 963	54
280型	570x430	898 ~ 1079	61

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
40型	86x54	111 ~ 134	8
50型	110x67	139 ~ 168	10
60型	130x81	168 ~ 202	12
80型	170x110	225 ~ 270	15
100型	220x130	281 ~ 338	19
120型	260x160	338 ~ 407	23
150型	320x200	424 ~ 509	29
200型	430x270	566 ~ 680	38
250型	540x340	708 ~ 850	48
320型	690x430	907 ~ 1089	62

EB-X9の投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

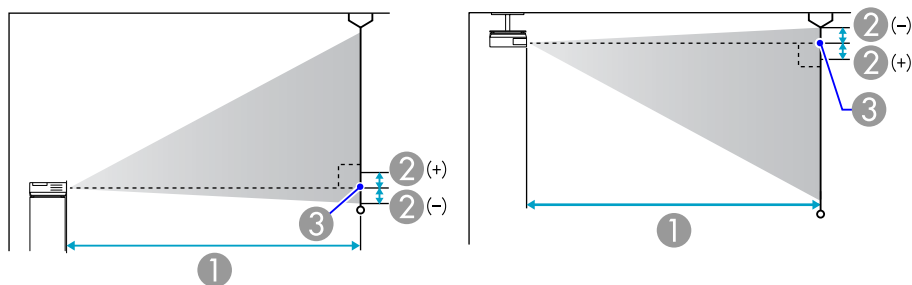
単位：cm

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	61x46	89 ~ 107	-5
40型	81x61	119 ~ 143	-7
50型	100x76	150 ~ 180	-8
60型	120x91	180 ~ 217	-10
80型	160x120	241 ~ 290	-14
100型	200x150	302 ~ 363	-17
120型	240x180	363 ~ 436	-20
150型	300x230	454 ~ 546	-25
200型	410x300	607 ~ 729	-34
250型	510x380	759 ~ 912	-42
300型	610x460	912 ~ 1095	-51

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	66x37	97 ~ 117	+1
40型	89x50	130 ~ 156	+1
50型	110x62	163 ~ 196	+1
60型	130x75	196 ~ 236	+1
80型	180x100	263 ~ 316	+2
100型	220x120	329 ~ 396	+2
120型	270x150	396 ~ 475	+3
150型	330x190	495 ~ 595	+3
200型	440x250	661 ~ 794	+5
250型	550x310	827 ~ 994	+6
275型	610x340	910 ~ 1093	+6

EB-S9の投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

単位：cm

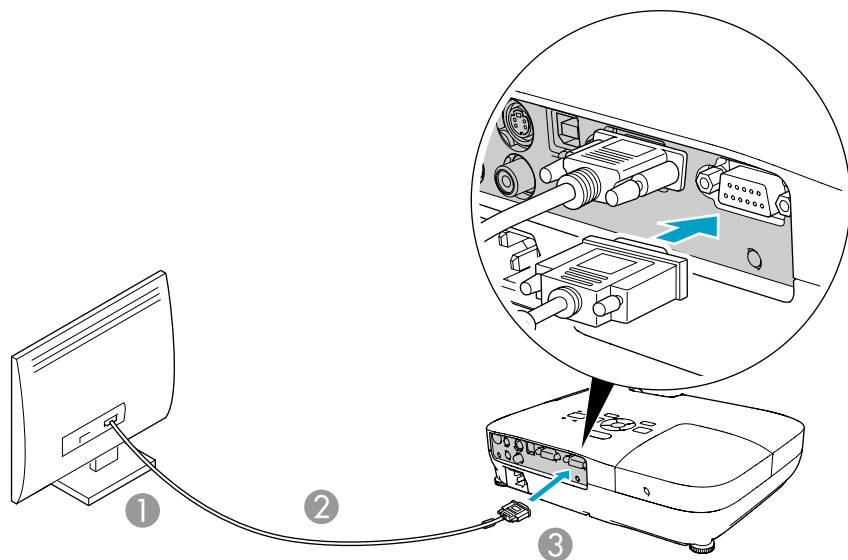
16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	(ワイド)
30型	66x37	95 ~ 130	+1
40型	89x50	128 ~ 174	+1
50型	110x62	161 ~ 218	+1
60型	130x75	193 ~ 262	+2
80型	180x100	259 ~ 350	+2
100型	220x120	324 ~ 438	+3
120型	270x150	389 ~ 527	+3
150型	330x190	487 ~ 659	+4
200型	440x250	651 ~ 880	+5

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	(ワイド)
30型	61x46	87 ~ 119	-5
40型	81x61	117 ~ 159	-7
50型	100x76	147 ~ 200	-8
60型	120x91	177 ~ 240	-10
80型	160x120	237 ~ 321	-13
100型	200x150	297 ~ 402	-17
120型	240x180	357 ~ 483	-20
150型	300x230	447 ~ 605	-25
200型	410x300	597 ~ 807	-33

外部モニターとの接続

コンピューター入力端子から入力しているコンピューター映像は、本機に接続した外部モニターとスクリーンに同時に表示できます。スクリーンから離れた位置でプレゼンテーションを行うときでも、外部モニターで映像を確認しながら行えます。接続は外部モニターに付属のケーブルで行います。



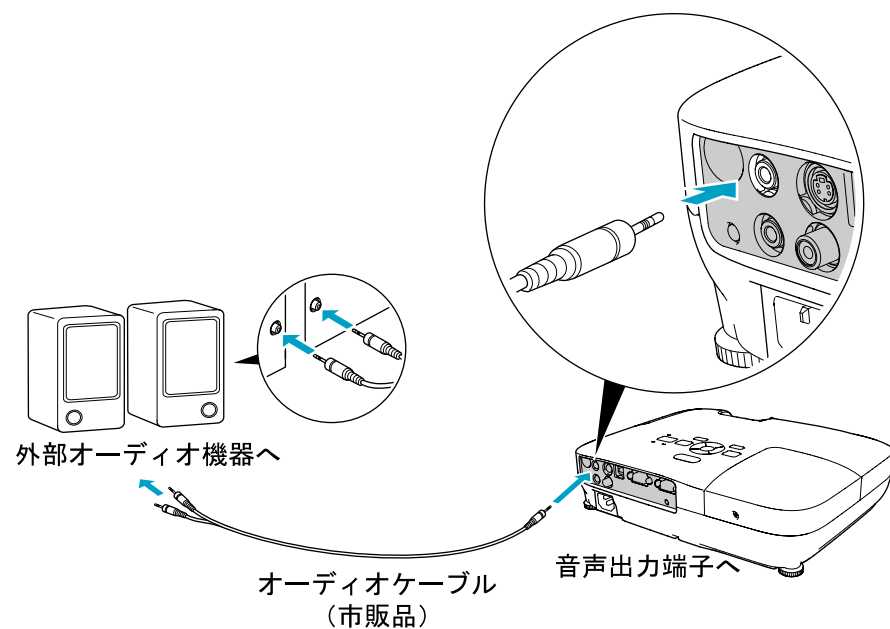
- ① モニター端子へ
- ② モニター付属ケーブル
- ③ モニター出力端子へ



- コンポーネントビデオ信号やビデオ入力端子、S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像を外部モニターに表示することはできません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプは外部モニターに出力されません。
- プロジェクターがスタンバイ状態のときに、外部モニターで映像を表示したいときは、環境設定メニューの**拡張設定 - 待機モード**で**通信オン**に設定します。▶ p.45

外部スピーカーとの接続

本機の音声出力端子と外付けのアンプ内蔵スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。接続は市販のオーディオケーブル(ピンプラグ↔3.5mmステレオミニプラグなど)で行います。オーディオケーブルは、外部オーディオ機器のコネクター形状に合わせて購入してください。



- 音声出力端子へオーディオケーブルのプラグを差し込むと、音声の出力先が外部に切り替わり本機の内蔵スピーカーからは音が出なくなります。
- 接続するときはノイズが生じるので、スピーカーの音量を小さくするか、またはスピーカーの電源をオフにしてください。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルをご使用になる際は「抵抗なし」と表記されたものをお選びください。

コンピューターからUSB経由で本機の監視・制御が行えます。本機とプロジェクターをUSBケーブルで接続し、通信コマンド(ESC/VP21 コマンド)を入力して行います。

始める前に

ESC/VP21コマンドでプロジェクターを監視・制御するには以下の準備が必要です。

操作

- ① お使いのコンピューターに**USB通信ドライバー(EPSON USB-COM Driver)**をインストールします。EPSON USB-COM Driverは以下のWebサイトからダウンロードできます。
<http://www.epson.jp/products/download/elp/menu.htm>
- ② 本機の環境設定メニューで「拡張設定」-「USB Type B」を「ワイヤレスマウス」または「ページ送り/戻し」に設定します。
- ③ 同じく拡張設定メニューで「Link 21L」を「オン」に設定します。
- ④ コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子をUSBケーブルで接続します。
 2回目以降は手順②から始めます。

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン「:」(3Ah)を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後「:」を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に「:」を返信しません。

項目		コマンド	
電源のオン/オフ	オン	PWR ON	
	オフ	PWR OFF	
信号切り替え	コンピューター	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
	ビデオ		SOURCE 41
	S-ビデオ		SOURCE 42
	USBディスプレイ		SOURCE 51
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON	
	オフ	MUTE OFF	
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00	
	青	MSEL 01	
	ロゴ	MSEL 02	

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps(通信時の速度はUSB1.1規格に準拠します。)
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

EB-W9の対応解像度表

コンピューター映像(アナログRGB)

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
VGA	60/72/75/85	640x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1024x768
WXGA	60	1280x768	1280x768	1280x720	1280x800	1280x768	1280x768
	60	1360x768	1280x722	1280x720	1280x800	1280x722	1280x768
	60/75/85	1280x800	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
WSXGA+※	60	1680x1050	1280x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
SXGA	70/75/85	1152x864	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1152x800
	60/75/85	1280x1024	1000x800	1280x720	1280x800	1280x800	1152x800
	60/75/85	1280x960	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1152x800
SXGA+	60/75	1400x1050	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
UXGA	60	1600x1200	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1280x800
MAC13"	67	640x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
MAC16"	75	832x624	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	832x624
MAC19"	75	1024x768	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1024x768
	60	1024x768	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	1024x768
MAC21"	75	1152x870	1059x800	1280x720	1280x800	1280x800	1152x800

※ 環境設定メニューの**入力解像度**で**ワイド**を選択しているときに限り対応します。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
SDTV(480i)	60	720x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SDTV(576i)	50	720x576	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	768x576
SDTV(480p)	60	720x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
SDTV(576p)	50	720x576	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	768x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720	1280x720	1280x720	1280x800	1280x720	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080	1280x720	1280x720	1280x800	1280x720	1280x800

コンポジットビデオ/s-ビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	リアル
TV(NTSC)	60	720x480	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	640x480
TV(PAL,SECAM)	50	720x576	1066x800	1280x720	1280x800	1280x800	768x576

EB-X9の対応解像度表

コンピューター映像(アナログRGB)

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード		
			ノーマル	4:3	16:9
VGA	60/72/75/85	640x480	1024x768	1024x768	1024x576
SVGA	56/60/72/75/85	800x600	1024x768	1024x768	1024x576
XGA	60/70/75/85	1024x768	1024x768	1024x768	1024x576

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード		
			ノーマル	4:3	16:9
WXGA	60	1280x768	1024x614	1024x768	1024x576
	60	1360x768	1024x578	1024x768	1024x576
	60/75	1280x800	1024x640	1024x768	1024x576
WXGA+	60	1440x900	1024x640	1024x768	1024x576
SXGA	70/75	1152x864	1024x768	1024x768	1024x576
	60	1280x1024	960x768	1024x768	1024x576
	60	1280x960	1024x768	1024x768	1024x576
SXGA+	60	1400x1050	1024x768	1024x768	1024x576
MAC13"	67	640x480	1024x768	1024x768	1024x576
MAC16"	75	832x624	1024x768	1024x768	1024x576
MAC19"	75	1024x768	1024x768	1024x768	1024x576
	60	1024x768	1024x768	1024x768	1024x576
MAC21"	75	1152x870	1016x768	1024x768	1024x576

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード	
			4:3	16:9
SDTV(480i)	60	720x480	1024x768	1024x576
SDTV(576i)	50	720x576	1024x768	1024x576
SDTV(480p)	60	720x480	1024x768	1024x576
SDTV(576p)	50	720x576	1024x768	1024x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720	1024x768	1024x576
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080	1024x768	1024x576

コンポジットビデオ/S-ビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード	
			4:3	16:9
TV(NTSC)	60	720x480	1016x768	1024x576
TV(PAL,SECAM)	50	720x576	1016x768	1024x576

EB-S9の対応解像度表

コンピューター映像(アナログRGB)

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード		
			ノーマル	4:3	16:9
VGA	60/72/75/85	640x480	800x600	800x600	800x450
SVGA	56/60/72/75/85	800x600	800x600	800x600	800x450
XGA	60/70/75/85	1024x768	800x600	800x600	800x450
WXGA	60	1280x768	800x480	800x600	800x450
	60	1360x768	800x451	800x600	800x450
	60/75	1280x800	800x500	800x600	800x450
WXGA+	60	1440x900	800x500	800x600	800x450
SXGA	70/75	1152x864	800x600	800x600	800x450
	60	1280x1024	750x600	800x600	800x450
	60	1280x960	800x600	800x600	800x450
SXGA+	60	1400x1050	800x600	800x600	800x450
MAC13"	67	640x480	800x600	800x600	800x450
MAC16"	75	832x624	800x600	800x600	800x450
MAC19"	75	1024x768	800x600	800x600	800x450
	60	1024x768	800x600	800x600	800x450
MAC21"	75	1152x870	794x600	800x600	800x450

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード	
			4:3	16:9
SDTV(480i)	60	720x480	800x600	800x450
SDTV(576i)	50	720x576	800x600	800x450
SDTV(480p)	60	720x480	800x600	800x450
SDTV(576p)	50	720x576	800x600	800x450
HDTV(720p)	50/60	1280x720	800x600	800x450
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080	800x600	800x450

コンポジットビデオ/s-ビデオ

単位：ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード	
			4:3	16:9
TV(NTSC)	60	720x480	800x600	800x450
TV(PAL,SECAM)	50	720x576	800x600	800x450

本機仕様

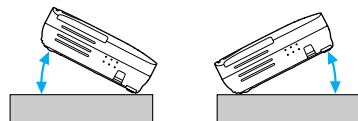
商品名	EB-W9	EB-X9	EB-S9
外形サイズ	幅295×高さ77×奥行き228mm(突起部含まず)		
パネルサイズ	0.59型ワイド	0.55型	
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス		
画素数	1,024,000個 WXGA(横1280×縦800ドット)×3	786,432個 XGA(横1024×縦768ドット)×3	480,000個 SVGA(横800×縦600ドット)×3
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	手動(1-1.2)		デジタル(1-1.35)
ランプ	UHEランプ 定格175W 型番：ELPLP58		
音声最大出力	1Wモノラル		
スピーカー	1個		
電源※1	100-240V AC ±10%, 50/60Hz 3.2-1.4A		
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：280W 待機時消費電力(通信オン時)：2.6W 待機時消費電力(通信オフ時)：0.3W	
	220-240Vエリア※1	定格消費電力：265W 待機時消費電力(通信オン時)：3.9W 待機時消費電力(通信オフ時)：0.4W	
動作高度	標高 0～2286m		
動作温度範囲	+5～+35℃ (結露しないこと)		
保存温度範囲	-10～+60℃ (結露しないこと)		
質量	約2.3kg		

商品名			EB-W9	EB-X9	EB-S9
接続端子	コンピューター 入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)青		
	ビデオ入力端子	1系統	RCAピンジャック		
	S-ビデオ入力端子	1系統	ミニDIN 4pin		
	音声入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック		
	モニター出力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)黒		
	音声出力端子	1系統	ステレオミニピンジャック		
	USB(TypeB)端子※2	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)		

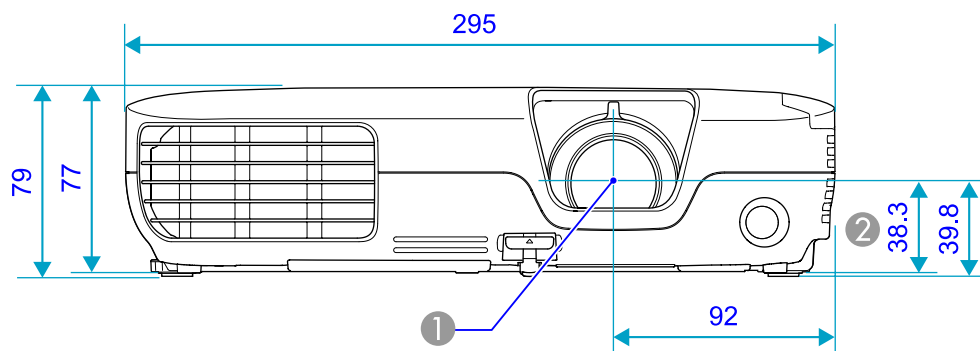
※1 本製品は、国内専用ですので海外でお使いの場合は保証対象外となります。

※2 USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

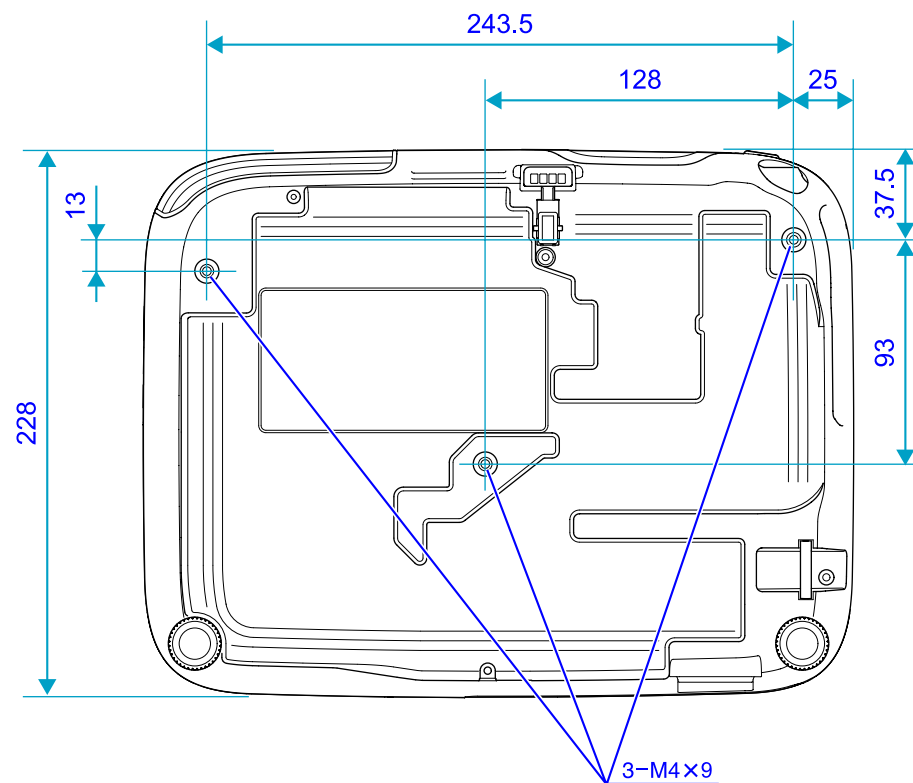
傾斜角度



30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。



- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から天吊固定部までの寸法



単位：mm

本書で使用している用語で本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ▶▶走査、iはインターレース▶▶走査) • 画面のアスペクト比▶▶は16:9
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV▶▶ の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものと呼ばれます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものと呼ばれます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものと呼ばれます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものと呼ばれます。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
インターレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカーを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカー、リア2chスピーカー、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。

プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system
Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
Microsoft® Windows Vista® operating system
Microsoft® Windows® 7 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 2000/XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.3.x
Mac OS X 10.4.x
Mac OS X 10.5.x
Mac OS X 10.6.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.9」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

商標について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows 7、PowerPoint、Windowsロゴは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Inc.の商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

数字・アルファベット

A/Vミュート	23
ESC/VP21	79
Eズーム	31
Link 21	46
Link 21L	79
sRGB	22
S-ビデオ入力端子	10
USB(TypeB)端子	10

ア

明るさ	41
明るさ切替	43
アスペクト	25, 43
色合い	41
色の濃さ	41
エアフィルター・吸気口の掃除	64
エアフィルターの交換時期	69
エアフィルターの交換方法	69
映像メニュー	42
オートアイリス	23
オーバーヒート	52
オプション品	71
音声出力端子	10
音声入力端子	10
温度インジケータ	51
音量	44

カ

外形寸法図	88
解像度	80
拡張設定メニュー	45

各部の名称と働き	9
画質調整メニュー	41
カラー調整	41
カラーモード	22, 41
環境設定メニュー	40
吸気口	9
傾斜角度	87
言語	46
高地モード	46
黒板	22
故障かなと思ったら	51
コントラスト	41
コンピューター入力端子	10

サ

シアター	22
自動調整	42
シャープネス	41
仕様一覧	86
情報メニュー	47
消耗品	71
初期化メニュー	48
ズームリング	9
スクリーンサイズ	74
スタートアップスクリーン	45
スポーツ	22
スリープモード	46
静止	24
セキュリティスロット	9
設置モード	45
設定メニュー	43
全初期化	48
全ロック	37

操作パネル	11, 12
操作ボタンロック	37, 43

タ

ターゲットスコープ	31
対応解像度	80
待機モード	46
台形補正	43
ダイナミック	22
ダイレクトパワーオン	46
電源インジケータ	51
電源端子	10
電源投入時	35
電池の交換方法	65
天吊り	45
天吊り固定部	11
問い合わせコード	36
同期	42
同期情報	47
動作温度範囲	86
動作設定	46
投写距離	74
トラッキング	42

ナ

入力解像度	47
入力検出	11, 12, 20
入力信号	47
入力信号方式	42
入力ソース	47

ハ

排気口	9
-----	---

背景表示	45	ランプ点灯時間の初期化	48, 68
パスワードプロテクト	35	ランプの交換時期	66
パスワードプロテクトシール	35	ランプの交換方法	66
ビデオ信号方式	43, 47	リア	45
ビデオ入力端子	10	リアスクリーン	63
表示位置	42	リアフット	11
表示設定	45	リフレッシュレート	47
フォーカスリング	9	リモコン	13
フォト	22	リモコン受光部	9, 10
プレゼンテーション	22		
プログレッシブ変換	42		
フロント	45		
フロントフット	9		
ページ送り/戻し	34		
ヘルプ機能	50		
ポインター	30		
ポインター形状	43		
保存温度範囲	86		
ホワイトボード	22		
本機の掃除	64		

ワ

ワイドサイズの映像	25
ワイヤレスマウス	33

マ

メッセージ表示	45
メニュー	40
モニター出力端子	10

ヤ

ユーザーロゴ	72
ユーザーロゴ保護	35

ラ

ランプインジケーター	51
ランプ点灯時間	47